※３８号より「研究年報」から「日本健康開発雑誌」に誌名を変更

通算	発刊号	ページ	区分	論文タイトル	代表著者	所属団体・機関	共著者（所属団体・機関）	Key Word				
（研究年報）												
1	1		まえがき		西尾　寿男	(財)日本健康開発財団 会長		健康づくり	慢性疾患	温泉	自然療法	健康増進プログラム
2	1	1	助成研究	糖尿病の温泉療法	斉藤　幾久次郎	北海道大学医学部	阿岸 裕幸	糖尿病	温泉療法	泉質	運動療法	食事療法
3	1	4	助成研究	中高年の栄養及び運動処方についての研究	宮下　充正	東京大学教育学部	跡見 順子	中高年	成人病	減量	食事療法	運動療法
4	1	13	助成研究	関節リウマチ及び痛風の温泉療法	森永　寛	岡山大学温泉研究所		温熱	関節リウマチ	泉質	痛風	飲泉
5	1	16	厚生科学研究	温泉利用による健康増進プログラムの設定に関する研究	植田　理彦	(財)日本健康開発財団		ストレス	健康増進プログラム	温泉保養	運動療法	遊歩道
6	1	29	研究方向	「保養・休養」の今日的評価とこれからの研究方向－温泉保養プログラムの研究に関連して－	(財)日本健康開発財団調査部			休養	保養プログラム	疲労回復	睡眠	トレーニング
7	2		まえがき		大島　良雄	東京大学名誉教授・埼玉医科大学病院長・(財)日本健康開発財団 顧問		高齢化社会	健康づくり	温泉医学	温泉保養	研究助成
8	2	2	受託助成研究（大和ヘルス財団）	健康増進に適する温泉保養地の条件設定、ならびに中・高年の健康づくりのための保養システムの研究	植田　理彦	(財)日本健康開発財団	宮下 充正(東京大学教育学部)、伊藤 稔(京都大学教養学部)	中高年	温泉保養地	健康増進保養システム	旅行	運動・食事
9	2	10	受託助成研究（三菱財団）	老人の健康増進を図るため，その健康度に応じた運動・生活プログラムの設定についての研究	植田　理彦	(財)日本健康開発財団		高齢者	運動不足	運動生活プログラム	運動適性	運動処方
10	2	12	助成研究	総合健診受診者の測定値と身体活動について	江橋　慎四郎	東京大学教育学部	市川 泰子(東京大学大学院)	総合健診	年齢群別平均値	成人病	身体活動	運動経験
11	2	23	助成研究	中近東地域の疾病とその予防・治療について	渋谷　敏朗			海外旅行	中近東	下痢	予防接種	携帯薬品
12	2	29	考察	中高年の運動処方の適用条件に対する一考察	(財)日本健康開発財団調査部			中高年	運動処方	体力特性	許容運動量	運動強度
13	3	1	巻頭言	BadewissenschaftあってBadewirtschaftなし	杉山　尚	東北大学名誉教授・社会保険宮城第一総合病院長・(財)日本健康開発財団 運営委員		湯治	温泉と健康	温泉医学	社会への還元	保養温泉地構想
14	3	2	助成研究	療養泉の分類及び適応症について	小島　碩夫	国立伊東温泉病院		保養的医療的利用	温泉療養	温熱	泉質	適応症
15	3	5	助成研究	八幡平地区における温泉の特性と温泉効果について	小笠原　達	大湯リハビリ温泉病院		事例紹介	八幡平地区	温泉効果	泉質	強酸性
16	3	7	助成研究	心拍数変動からみた中高年者の運動強度の推定について	伊藤　稔	京都大学	伊藤 一生（京都大学）、神山 雄一郎(大阪商科大学)	中高年	心拍数変動	運動強度	体格・年齢	酸素摂取量
17	3	13	助成研究	降圧剤服用者の運動負荷に対する影響	飯島　猛	石和温泉病院		降圧剤	運動負荷	血圧	心拍数	酸素摂取量
18	3	17	助成研究	日本における湯治（温泉保養）の歴史的事例（温泉腟洗浄器）	木暮　敬	日本温泉協会学術部		事例紹介	湯治	温泉医療史	温泉治療器具	温泉腟洗浄器

通算	発刊号	ページ	区分	論文タイトル	代表著者	所属団体・機関	共著者（所属団体・機関）	Key Word				
19	3	22	厚生科学研究	海外居住日本人の保健ニーズについて	植田　理彦	(財)日本健康開発財団	力石 道勝	海外駐在	医療の実態	健康不安感	家族の健康問題	伝染病
20	3	26	自主研究	温泉保養地における健康づくり　－ことに歩行運動の役割 －温泉保養効果を高めるための医学及び運動生理学上の考察－	岩崎　輝雄	(財)日本健康開発財団		温泉保養地構想	アメニティ	温熱効果	歩行運動	ミルキング・アクション
21	3	33	参考資料	温泉地及び保養地における健康教育の原則	(財)日本健康開発財団調査部			健康教育	温泉地・保養地	生活様式変更	危険因子排除	専門家養成
22	4	1	巻頭言		葛西　嘉資	元厚生事務次官・(財)日本健康開発財団 顧問		健康開発	研究助成	調査研究	温泉保養システム	高齢者健康度判定基準
23	4	2	助成研究	高脂血症の予知法、予防法、治療法に関する基礎的研究	鈴木　慎次郎	国立栄養研究所健康増進部	辻 悦子	鶏卵	動脈硬化症	高脂血症	血中コレステロール	早期予知法
24	4	6	助成研究	鉱泥浴用の鉱泥と浴用水について	湊　秀雄	東京大学教養学部		温泉治療	鉱泥浴	トゴール	鉱物組成	浴用水
25	4	11	助成研究	全身水浴による温度刺激の水分電解室代謝への影響とその日内差異	阿岸　祐幸	北大医学部付属・温泉治療研究施設	堺 紘、井出 肇、鈴木 重男	腎機能	高温浴	冷水浴	血中電解質	尿中電解質排泄量
26	4	19	助成研究	農村老人健康調査報告	村井　隆重	淑徳大学	山下 袈裟男（東洋大学）、大阪 己年子（熊本女子大学）、宮崎 俊策（熊本短期大学）	農村	高齢者	健康状態	食生活	健康法・健康診断の状況
27	4	29	自主研究	健康度設定についての研究	植田　理彦	(財)日本健康開発財団	力石 道勝	健康度	健常値	数量化	尺度化	平均的尺度
28	4	34	自主研究	健康づくりのための温泉保養地　－三朝温泉における遊歩道の設定研究－	岩崎　輝雄	(財)日本健康開発財団	植田 理彦	事例紹介	温泉保養地	三朝温泉	遊歩道	健康増進プログラム
29	4	44	参考資料	保養温泉地の育成策について	環境庁・保養温泉地制度検討会			保養温泉地育成策	療養利用	保養･休養利用	健康増進利用	指定温泉地
30	5		別冊	老人の健康度判定基準の設定と食生活、運動プログラム基準の作成のための研究	(財)日本健康開発財団			高齢者	健康度判定基準	健康増進	食生活プログラム	運動プログラム
31	5	1	巻頭言		津田　弘孝	(財)日本健康開発財団 会長		健康	健康保養地の開発	健康保養地の指導	健診事業	研究活動
32	5	2	助成研究	健康増進保養旅行における運動プログラム	山本　隆久	大阪体育大学		健康増進保養旅行	運動プログラム	健康状態の改善	健康づくりの動機づけ	運動の生活化
33	5	6	助成研究	食事が早朝空腹時の安静血清糖脂質分析値に及ぼす影響	跡見　順子	東京大学	市川 泰子、田畑 泉(以上、東京大学教育学部体育学研究室)、植田 理彦、星 辰男、大城戸 ツヤ子（以上,日本健康開発財団）	血清糖脂質	食物摂取	エネルギー代謝	安静絶食時血液分析値	動物性脂肪の摂取量
34	5	16	自主研究	水中運動における主観的運動強度と温度感覚	岩崎　輝雄	(財)日本健康開発財団	石原 俊樹（東京大学）、大城戸 道生、植田 理彦（以上、日本健康開発財団）	水中運動	温熱	浮力・水圧	主観的運動強度（ＲＰＥ）	温度感覚（ＲＴＳ）
35	5	28	自主研究	主婦と職業婦人の母性意識ならびに健康状態に関する比較研究	力石　道勝	(財)日本健康開発財団	植田 理彦	母性意識	主婦	職業婦人	健康状態	生きがい
36	5	32	習俗研究	上諏訪温泉調査報告	後屋敷　利雄	(財)日本健康開発財団		事例紹介	上諏訪温泉	片倉館	レジャー基地	温泉の活用
37	5	36	習俗研究	草津温泉調査報告	後屋敷　利雄	(財)日本健康開発財団		事例紹介	草津温泉	強酸性・高熱湯	時間湯	入湯心得

通算	発刊号	ページ	区分	論文タイトル	代表著者	所属団体・機関	共著者（所属団体・機関）	Key Word				
38	5	42	習俗研究	渋温泉調査報告	伊藤　正義	(財)日本健康開発財団		事例紹介	渋温泉	僧行基	共同浴場	温泉寺
39	6		別冊	北海道弟子屈町林業者等の健康管理施設利用プログラムの研究	(財)日本健康開発財団			弟子屈町	水治療法	温泉療養	振動障害予防	入浴プログラム
								運動プログラム	栄養	バーデゾーン	ヘルストレーナー	予防医学
40	6	1	巻頭言	「集団健診　昔と今」	秋山　房雄	女子栄養大学		身体検査	集団検診	結核管理	感染症	成人病
41	6	2	助成研究	肥満度測定による健康度評価法についての実践的研究	植田　理彦	(財)日本健康開発財団	山川 喜久江(国立栄養研究所)	肥満度	体脂肪率	標準体重	体格指数	ブローカー指数
42	6	12	助成研究	健康度設定のための基礎的研究　－医師所見と臨床検査値との関連－	高石　昌弘	東京大学教育学部	畑 栄一	臨床検査値	外的基準	一元配置	二元配置	医師所見
43	6	17	助成研究	老化度判定法としての生化学継年データの解析に関する研究	武藤　芳照	東京大学		老化度判定法	血液生化学データ	加齢	継続的追跡調査	正常値再検討
44	6	25	助成研究	身体運動時の収縮期血圧値の変化について	伊藤　稔	京都大学教養学部		身体運動時	収縮期血圧値	連続血圧測定装置	テレメーター	脈拍数
45	6	31	助成研究	海外移住邦人主婦の育児に関する研究	植田　理彦	(財)日本健康開発財団	力石 道勝	海外駐在の主婦	海外での育児状況	海外での教育観	海外生活での心配事	母親の健康状態
46	6	43	助成研究	食生活習慣が中高年の健康指標に及ぼす影響に関する研究	小林　修平	国立栄養研究所	山川 喜久江	中高年	成人病予防	食生活習慣	食嗜好	臨床検診成績
47	6	58	助成研究	歴史的にみた温泉湯治における浴槽と利用習慣	立木　淳三			事例紹介	温泉の歴史	温泉湯治	浴槽	利用習慣
48	6	68	自主研究	超長寿者の移住分布状況から見た社会医学的考察	岩崎　輝雄	(財)日本健康開発財団	大道 等(東京大学)、植田 理彦(日本健康開発財団)、宮下 充正(東京大学)	超長寿者	居住分布	気候区分	食習慣	生活環境
49	6	76	自主研究	高齢者の健康づくり意識の調査	岩崎　輝雄	(財)日本健康開発財団	大城戸 道生	高齢者	健康意識	スポーツ参加	参加費用の支出	年金活用
50	6	80	自主研究	遊歩道歩行時の心拍数、ＲＰＥ及び運動強度	大城戸　道生	(財)日本健康開発財団	岩崎 輝雄、植田 理彦	温泉保養	遊歩道歩行	心拍数	運動強度	森林浴
51	7	1	巻頭言	「温泉医学の研究」	斉藤　幾久次郎	中伊豆温泉病院 名誉院長		温泉医学	酸性泉	飲泉療法	鉱泥療法	疾病治療
52	7	2	助成研究	寒の地獄冷水連浴による生体反応性の変化について(健康増進法としての意義)	辻　秀男	九州大学生体防御医学研究所	麻生 宰、白坂 千秋、竹内 義彦、内田 一郎	寒の地獄	冷水連浴	耐寒能力	運動能力増大	ストレス耐性
53	7	11	助成研究	森林内運動における呼吸機能に関する研究	宮本　昭正	東京大学医学部物療内科	堀内 正	森林浴	気候緩和作用	気分爽快	疲労軽減	呼吸機能上の変化
54	7	18	助成研究	森林内歩行において種々なる地形がヒトに与える影響について	伊藤　稔	京都大学	神山 雄一郎(群馬女子大学)、広藤 千代子(大阪学院短期大学)、太田 久美子(光華女子短期大学)	森林浴	歩行運動	地形	主観的苦痛度	運動強度
55	7	26	助成研究	種々の条件下での歩行のエネルギー	北川　薫	中京大学		遊歩道の設定	生理学的負担	酸素摂取量	歩行の条件	エネルギー消費量
56	7	35	助成研究	脱ストレスのための温泉療法	鈴木　仁一	東北大学心療内科		脱ストレス	心身症	温泉療法	酸性熱性泉連浴	生活療法

通算	発刊号	ページ	区分	論文タイトル	代表著者	所属団体・機関	共著者（所属団体・機関）	Key Word				
57	7	38	助成研究	温水中における頭部皮膚温，心拍数及び酸素摂取量の経時変化	岩崎　輝雄	(財)日本健康開発財団	大道 等、宮下 充正（以上、東京大学教養学部）、大城戸 道生、植田 理彦（以上、日本健康開発財団）	クアハウス	入浴プログラム	生体反応測定	生理的指標	温熱入浴
58	7	42	厚生科学研究	超長寿者の居住環境、生活習慣及び健康法に関する研究	伊藤　正義	(財)日本健康開発財団		高齢化	超長寿者	居住環境	生活習慣	健康法
59	8	1	巻頭言		森永　寛	岡山大学医学部附属病院 三朝分院長		あまりに単純な考え	ホメオスタシス	新しい温泉療養の展開	クアハウス	温泉の活用
60	8	2	助成研究	保養行動における被服構成の研究について	新野　静枝、高野倉　睦子	共立女子短期大学		森林浴服	被服構成	保温力	快適さ	着装感
61	8	14	助成研究	老人の食生活と健康状態に関する研究	山川　喜久江、小林　修平	国立栄養研究所		高齢者	栄養摂取状態	基礎代謝	血液の生化学測定	健康状態
62	8	23	助成研究	諸外国の統計からみた超長寿者（Centenarian）の居住分布に関する研究	菱沼　従尹	(財)寿命研究会	籏野 脩一（国立公衆衛生院）、松崎 俊久（（財）東京と老人総合研究所）、小林 昭二（（財）厚生統計協会）、白石 昌嵩（厚生省統計情報部）	諸外国	センテナリアン（超長寿者）	居住区分	遺伝子	温暖な気候
								過大申告	年齢誇張	ビルカバンバ	高所	適度な栄養
63	8	39	助成研究	体力テストとその判定に関する電算処理の研究	宮下　充正	東京大学教育学部	定本 朋子	高齢者	無酸素性作業能力	有酸素性作業能力	体力測定システム	運動実践
64	8	46	厚生科学研究	自然環境条件に適した屋外運動と健康増進プログラムの策定に関する研究	岩崎　輝雄	(財)日本健康開発財団		健康増進プログラム	森林浴	自然環境	運動強度	意識改善効果
65	8	59	自主研究	健康学における「運動、栄養、休養」の内，休養の役割について－文献考察－	岩崎　輝雄	(財)日本健康開発財団		休養	余暇活動	ストレス解消	自然治癒力	防衛体力
66	8	63	学会発表・抄録	入浴温度が呼吸循環機能に与える影響(第５０回日本温泉気候物理医学会)	植田　理彦	(財)日本健康開発財団	大城戸 道生、岩崎 輝雄	入浴温度	水圧	ＲＴＳ	温熱性	運動性
67	8	63	学会発表・抄録	サウナ浴における体温、心拍数及びエネルギー代謝(第２２回日本リハビリテーション医学会)	植田　理彦	(財)日本健康開発財団	大城戸 道生、岩崎 輝雄	サウナ浴	体温	ＲＴＳ	心拍数	エネルギー代謝
68	8	68	学会発表・抄録	片脚及び両脚による連続下肢屈伸運動について（第４０回日本体力医学会）	大城戸　道生	(財)日本健康開発財団	岩崎 輝雄、植田　理彦	連続下肢屈伸運動	片脚	運動負荷水準	運動強度	エネルギー消費量
69	8	69	学会発表・抄録	森林環境による健康づくりの因子についての研究（第１報）（日本体育学会第３６回大会）	岩崎　輝雄	(財)日本健康開発財団	大城戸 道生、植田　理彦	森林環境	自覚症状	身体運動	森林浴	健康づくり
70	8	70	学会発表・抄録	連続下肢屈伸運動における動作リズムと運動強度（日本体育学会第３６回大会）	大城戸　道生	(財)日本健康開発財団	岩崎 輝雄、植田　理彦	屈伸運動	動作リズム	運動強度	なわとび	運動負荷
71	8	72	学会発表・抄録	受診者の運動実施状況と健診結果の関係（日本総合健診医学会第１４回大会）	大城戸　道生	(財)日本健康開発財団　東京・八重洲総合健診センター	植田　理彦、岩崎 輝雄	運動実施状況	健診結果	生活指導	自覚症状	運動習慣
72	8	76	学会発表・抄録	東京八重洲総合健診センターにおける婦人科検診成績について（日本総合健診医学回第１４回大会）	石田　みゆき	(財)日本健康開発財団　東京・八重洲総合健診センター	植田 理彦、認谷 静代（以上、東京･八重洲総合健診センター）、永井 英男、野末 源一（以上、日赤医療センター）	婦人科検診	継続受診	受診率	スメア	婦人疾患
73	8	80	学会発表・抄録	コンピューターによる栄養分析に基づいた生活指導（日本総合健診医学会第１４回大会）	塚越　礼子	(財)日本健康開発財団　東京・八重洲総合健診センター	大城戸 ツヤ子、小澤 真紀子、植田 理彦、戸松 節子	栄養分析	生活指導	食事調査表	食生活の変化	継続受診者
74	8	81	学会発表・抄録	喀痰細胞診の成績と受診者の関心度（日本総合健診医学会第１４回大会）	岸本　君江	(財)日本健康開発財団　東京・八重洲総合健診センター	真田 明枝、広岡 弥生、星 辰男	中心型肺癌	喀痰細胞診	アセチルシステイン集細胞法	喫煙量	自覚症状
75	9	1	巻頭言	「健康的環境とは」	辻　秀男	九州大学生体防御医学研究所 教授		寿命	遺伝素因	生活環境	運動量	ストレスによる精神的緊張

通算	発刊号	ページ	区分	論文タイトル	代表著者	所属団体・機関	共著者（所属団体・機関）	Key Word				
76	9	2	助成研究	入浴及び水中運動の生理的、心理的影響について	若林　哲也、飯島　猛	医療法人石和温泉病院	大城戸 道生、岩崎 輝雄、植田 理彦（以上、（財)日本健康開発財団）	入浴	水温	水圧	温熱性	体温
								水中運動	浮力	抵抗	ＰＴＳ	ＲＰＥ
77	9	17	助成研究	連続的温泉浴による血漿Catecholamine濃度の変動：特に治療効果との関連について	田口　文人	東北大学医学部心療内科	鈴木 仁一、桃生 寛和、伊藤 典和、吉崎 秀夫、古暮 恒夫	連続的温泉浴	血漿濃度	ストレス	心身症	神経症
78	9	26	助成研究	心筋梗塞患者の回復期運動療法としての水泳の適用について	伊藤　稔	京都大学	川初 清典、浜崎 博、青戸 公一、下村 雅昭	心臓病患者	回復期運動療法	水泳	安全基準	海水浴
79	9	40	助成研究	秋田八幡平、玉川温泉の医学的研究の歴史的変遷について	足澤　三之介	玉川温泉研究会	杉江 忠之助、足沢 輝夫	事例紹介	玉川温泉	泉質	皮膚炎	自律神経調整作用
80	9	47	助成研究	閉経期の運動処方について	山川　純	日本女子体育大学	串田 志都子(日本女子体育短期大学)、手塚 由美(霞ヶ丘水泳教室)	閉経期	水泳教室	運動量	心拍数	継続年数
81	9	57	助成研究	温泉療養有効症例の調査報告について	斉藤　幾久次郎	日本温泉気候物理医学会　日本温泉療法医会	東 威（聖マリアンナ医科大学）、冨士 正夫（国立白浜温泉病院）、野口 順一（岩手県立中央病院）	温泉療養	適応症	リウマチ	外科疾患	皮膚疾患
82	9	61	厚生科学研究	成人病の温泉療法に関する基礎的研究	植田　理彦	(財)日本健康開発財団		成人病	温泉療法	入浴温度	反復入浴	半身浴
83	9	73	自主研究	老人保健法のねらいとクアハウス等のはたす役割　－　その医療以外の保健事業実施施設としてのクアハウス　－	(財)日本健康開発財団　研究調査部			老人保健法	医療以外の保険事業	健康教育	クアハウス	ポジティブヘルス
84	9	76	考察研究	（財）日本健康開発財団のﾍﾙｽｹｱﾄﾚｰﾅｰの資格要件と今後－中高年の健康づくり指導者・育成の潮流の中で－	岩崎　輝雄	(財)日本健康開発財団		高齢化	温泉健康づくり	クアハウス	ヘルスケアトレーナー	健康医学
85	9	81	学会発表・抄録	温冷交代シャワー浴における生理的変動(第５１回日本温泉気候物理医学会)	植田　理彦	(財)日本健康開発財団	大城戸 道生、岩崎 輝雄（以上、(財)日本健康開発財団）、吉久保 誠一、筒井 修（以上、東陶機器㈱）	温冷交代シャワー浴	生理的変動	水温	主観調査	体温
86	9	86	学会発表・抄録	シャワー浴が体に及ぼす影響－温冷交代シャワー浴について－(第２３回日本ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ医学会)	植田　理彦	(財)日本健康開発財団	大城戸 道生、岩崎 輝雄（以上、(財)日本健康開発財団）、吉久保 誠一、筒井 修（以上、東陶機器㈱）	温冷交代シャワー浴	生理的影響	自転車運動	採血	体温
87	9	90	学会発表・抄録	温冷刺激における心電図Ｒ－Ｒ間隔の検討－温冷交代シャワー浴における心拍反応－（第４１回日本体力医学会）	大城戸　道生	(財)日本健康開発財団	岩崎 輝雄、植田 理彦	温冷交代シャワー浴	自律神経系	水温幅	水温周期	Ｒ－Ｒ間隔
88	9	93	学会発表・抄録	人浴水温が血中β－endorphin：ＨＲ－体温関係に与える影響・－電動式リフトによる仰臥位入浴において－(第３７回日本体育学会大会)	大城戸　道生	(財)日本健康開発財団	岩崎 輝雄、植田 理彦	電動式リフトによる入浴	入浴水温	高温浴	血中濃度上昇	心拍数と体温の関係
89	9	94	学会発表・抄録	受診者の運動習慣に関する基礎的研究 ・－　首都圏のサラリーマン及び主婦について－　（日本総合健診医学会総会第１５大会）	大城戸　道生	(財)日本健康開発財団　東京・八重洲総合健診センター	植田 理彦、岩崎 輝雄	健診受験者への生活指導	身体活動調査票	運動習慣	運動不足	健診結果との関係
90	9	99	学会発表・抄録	総合健診におけるＡＦＰおよびＣＥＡの分布と個人の変動値・（日本総合健診医学会総会第１５大会）	大八木　敦子	(財)日本健康開発財団　東京・八重洲総合健診センター	高橋 順子、斉藤 美智子、星 辰男	総合健診	腫瘍マーカー	ＡＦＰ	ＣＥＡ	悪性腫瘍
91	9	104	学会発表・抄録	腹部超音波検査の熟練者と初心者の画像描出の差について　（日本総合健診医学会総会第１５大会）	真田　明枝	(財)日本健康開発財団　東京・八重洲総合健診センター	広岡 弥生、大八木 敦子、高橋 順子、戸松 節子、星 辰男（以上、東京・八重洲総合健診センター）、今瀬 信孝（平塚胃腸病院）	腹部超音波検査	熟練者と初心者	胆嚢	肝臓	腎臓
92	9	107	学会発表・抄録	自動化健診受診者（ＡＭＨＴＳ）における血清γ－ＧＴＰ高値者に対する生活習慣の調査　（日本総合健診医学会総会第１５大会）	熊木　敏郎	(財)日本健康開発財団	植田 理彦、大城戸 ツヤ子、成田 敏弘、山城 一恵、吉井 寿恵	γ－ＧＴＰ高値者	生活習慣調査	飲酒習慣	ＧＯＴ・ＧＰＴ	生活指導
93	9	113	温泉情報	健康と温泉フォーラム				健康と温泉	超高齢化社会	健康増進	道後温泉	活性化
94	10		巻頭言	「運動処方の研究」	宮下　充正	東京大学教育学部 教授		養生訓	運動不足	運動処方	生体反応	生体適応

通算	発刊号	ページ	区分	論文タイトル	代表著者	所属団体・機関	共著者（所属団体・機関）	Key Word				
95	10	1	助成研究	刺激効果など歩行浴効果高める床タイルの形状に関する東洋医学的研究・モデル実験による検討	芹澤　勝助	東洋医学技術教育振興財団 東洋医学技術研修センター	森山 朝正、野口 栄太郎	東洋医学	歩行浴	足底の刺激	平衡機能	床タイル
96	10	8	助成研究	呼吸循環系反応からみた水中運動の至適テンポに関する研究	加賀谷　淳子	日本女子体育大学	小西 由里子(日本女子体育大学）、武田 京子(日本健康開発財団研究調査部)、大久保 あづま、岩崎 春香(以上、東京ＹＭＣＡ体育部)	水中運動	至適運動テンポ	運動強度	呼吸循環系反応	浮力
97	10	15	助成研究	クアハウス利用者の健康意識と利用実態の調査	麓　信義	弘前大学教育学部		クアハウス利用者	健康意識	健康度	食事・睡眠	運動
98	10	50	助成研究	温泉療法の処方について	冨士　正夫	国立白浜温泉病院		温泉療法	クアハウス	入浴プログラム	入湯指導	予防医学
99	10	59	助成研究	Chlamydia trachomatis に対する二、三の温水の影響	熊木　敏郎	(財)日本健康開発財団　東京・八重洲総合健診センター	植田 理彦(日本健康開発財団）、萩原 利且(日本予防衛生研究所獣疫部)	Ｃ．Ｔｒａｃｈｏｍａｔｉｓ	性行為感染症	温泉水の影響	培養法	細菌検査
100	10	64	助成研究	緑膿菌(Psevdomonas aeruginosa)に対する二、三の温泉水の影響	熊木　敏郎	(財)日本健康開発財団　東京・八重洲総合健診センター	植田 理彦(日本健康開発財団）、萩原 利且(日本予防衛生研究所獣疫部)	緑膿菌	感染症	温泉水の影響	pH(水素イオン指数）	細菌汚染対策
101	10	71	(財)大和ヘルス財団、研究助成論文	多目的温泉保養施設（クアハウス）を利用した勤労者の健康づくりに関する調査研究報告	植田　理彦	(財)日本健康開発財団　東京・八重洲総合健診センター	熊木 敏郎	脱ストレス	勤労者	クアハウス	休養型プログラム	生活習慣
102	10	81	自主研究	温泉リゾート地での男子中高年軽度健康異常者の短期保養行動効果の検討	上畑　鉄之丞	国立公衆衛生院疫学部	松岡 敏夫(杏林大学医学部)、大堀 孝雄(東海大学体育学部)、足立 巳幸、今村 益子（以上、女子栄養大学)、針谷 順子(高知教育大学)、岩崎 輝雄、大城戸 道生（以上、日本健康開発財団）、為荘 優子(全国労働金庫健康保険組合)	男子中高年	成人病予防	生活習慣改善	温泉入浴	短期保養効果
103	10	91	自主研究	健康学からみた「保養」概念の研究　温泉保養地学の基本概念（第２報）	岩崎　輝雄	(財)日本健康開発財団	金指 征治	保養	温泉保養地概念	健康学	自然療法	長期滞在
104	10	98	自主研究	米国における温泉保養地に関する実態報告　－　リゾートヘルススパの近況　－	金指　征治	(財)日本健康開発財団		事例紹介	米国	リゾートヘルススパ	ゴールデンドア	グレンアイビーホットスプリング
105	10	107	考察	温泉の保健的利用の促進の手法	諏訪薗　辰雄	(財)日本健康開発財団		温泉の保健的利用	高齢化社会	温泉療法医	医療資源	長期休暇
106	10	115	学会発表・抄録	かぶり(かかり)湯が温浴及び水浴時の循環機能に及ぼす影響について	大城戸　道生、若林　哲也、飯島　猛、荻野　晃一	（医）石和温泉病院健康増進センター	植田 理彦、岩崎 輝雄（以上、日本健康開発財団）	かぶり（かかり）湯	温浴と水浴	水温	循環器機能	昇圧予防
107	10	116	学会発表・抄録	Ａｌｃｏｈｏｌ代謝に及ぼす影響について	植田　理彦	(財)日本健康開発財団	大城戸 道生、若林 哲也、飯島 猛、荻野 晃一（以上、(医)石和温泉病院健康管理増進センター）	飲酒	入浴前後	アルコール代謝	血中アルコール濃度	水温
108	10	117	学会発表・抄録	アルコール浴(酒風呂)が生体に及ぼす影響	若林　哲也、大城戸　道生、飯島　猛、荻野　晃一	(医)石和温泉病院健康管理センター	植田 理彦（日本健康開発財団）	温水の特性	アルコール浴	さら湯浴	体温	血圧
109	10	118	学会発表・抄録	健康増進に於ける総合健診の役割　－石和温泉病院健康増進システム－	大城戸　道生、若林　哲也、飯島　猛、荻野　晃一	(医)石和温泉病院健康管理センター	植田 理彦（日本健康開発財団　八重洲総合健診センター）	事例紹介	石和温泉病院	つくる健康	総合健診システム	クアハウスシステム
110	11		巻頭言	「温故知新」	玉川　鐵雄	高島屋診療所		自然環境	自己の過大評価	エントロピーの法則	ヒポクラテス	医学情報過剰
111	11	1	助成研究	糖尿病患者の温泉療養に関する研究	若林　哲也	石和温泉病院健康管理増進センター	大城戸 道生、渡辺 富雄	糖尿病	温泉療養	飲泉・入浴	食事療法	運動療法
112	11	10	助成研究	わが国温泉地の泉質別分類表の作成について	斉藤　幾久次郎	日本温泉療法医会		泉質別分類表	温泉地	都道府県別	療養相談	適応泉質
113	11	15	助成研究	電子顕微鏡による毛髪の生理学的状態の研究　－　温泉保養効果の指標としての可能性についての基礎研究　－	清宮　義博（旧姓 大矢）	明星大学電子顕微鏡センター		毛髪	メモリー機能	分析電子顕微鏡	解剖生理学的分析	温浴

通算	発刊号	ページ	区分	論文タイトル	代表著者	所属団体・機関	共著者（所属団体・機関）	Key Word				
114	11	26	助成研究	温泉保養における熱量収支を中心とした改善プログラムに関する研究	上畑　鐵之丞	国立公衆衛生院疫学部成人病室長	大堀 孝雄(東海大学体育学部)、足立 巳幸(女子栄養大学)、阿部 真雄(中央労働災害防止協会)、松岡 敏雄(杏林大学医学部)、為壮 優子(労働金庫健康保健組合)、岩崎 輝雄((財)日本健康開発財団)	温泉保養	生活習慣改善	保養プログラム	身体所見	消費熱量・摂取熱量
115	11	34	助成研究	クアハウス定期利用者の生活意識、健康意識とクアハウス利用の効果	麓　信義	弘前大学教育学部		クアハウス利用実態	生活意識	健康意識	健康状態	運動実施度
116	11	55	厚生科学研究	成人病の飲泉療法に関する基礎的研究(総括研究報告)	植田　理彦	(財)日本健康開発財団　東京・八重洲総合健診センター		飲泉療法	成人病	ミネラルウォーター	胃腸運動	消化管ホルモン分泌
117	11	58	厚生科学研究	飲泉の胃腸運動に及ぼす影響	辻　秀男	九州大学生体防御医学研究所外科		飲泉	胃腸運動	連飲	泉質	胃内停滞時間短縮
118	11	61	厚生科学研究	飲泉による消化管ホルモンの分泌への影響	阿岸　祐幸	北海道大学医学部温泉治療研究施設	井出 肇、浅沼 義英、藤屋 秀一（以上、北海道大学医学部温泉治療研究施設）、近藤 光(白石臨床検査研究所)	飲泉	消化管ホルモン分泌	温泉水・水道水	温泉分析表	試験食
119	11	68	特別座談会	ヨーロッパにおける温泉医学の果たす役割　温泉保養地での健康づくりの現況報告　－　第２回健康と温泉国際シンポジウムに参加して　－	斉藤　幾久次郎	日本温泉療法医会会長・中伊豆温泉病院名誉院長	辻 秀男(九州大学医学部名誉教授)、阿岸 祐幸(北海道大学医学部教授)、田中 信行(鹿児島大学医学部教授)、岩崎 輝雄(日本健康開発財団)、渋谷 雅子(ドイツ航空㈱)、植田 理彦(※進行司会：日本健康開発財団)	ヨーロッパ	温泉医学	温泉保養地	バーデンバーデン	カラカラメルテ
120	11	83	学会発表・抄録	エコー所見による脂肪肝と諸検査および飲酒習慣との関連について	広岡　弥生	(財)日本健康開発財団　東京・八重洲総合健診センター	真田 明枝、大八木 敦子、高橋 順子、山本 由香利、戸松 節子	エコー検査	脂肪肝	ＴＧ・ＧＰＴ	皮下脂肪量	飲酒習慣
121	11	86	学会発表・抄録	全自動ＥＩＡ装置ＩＢ－５００によるＣＥＡ、ＡＦＰ測定の基礎的検討	高橋　順子	(財)日本健康開発財団　東京・八重洲総合健診センター	星 辰男、大八木 敦子、山本 由香利（以上、日本健康開発財団）、江川 孝則（富士レビオ㈱）	腫瘍マーカー	ＣＥＡ	ＡＦＰ	酵素免疫測定	一定条件で操作
122	12		巻頭言	「新しい医学分野としての健康医学」	小林　修平	国立健康・栄養研究所長		健康医学	将来健康予測	急速な高齢化社会	生活習慣と医療の近代化	環境変化
123	12	1	助成研究	生気象学からみた保養に適する自然環境の尺度化の研究	藤井　幸雄	（株）インテルハーツ	守田 康太郎	保養に適する自然環境	生気象学	平均気温	平均寿命	有病者率
124	12	9	助成研究	伝統的温泉療養の効果に関する調査	片桐　進	山形県衛生研究所	東海林 辰雄(山形県温泉協会専務理事)	湯治	伝統的温泉利用	山形県	保養・休養	高齢化
125	12	14	助成研究	水中運動浴槽における健康増進プログラムの作成	西住　昌裕	佐賀医科大学地域保健科学	熊谷 秋三、江村 菜穂子、近藤 芳明（以上、佐賀医科大学地域保健科学）、西河 英隆(福田脳神経外科病院)、北嶋 久雄(佐賀大学教養部)、日高 敬児(佐賀大学教育学部)	水中運動	生理的運動強度	有酸素的運動効果	リハビリテーション	減量
126	12	25	助成研究	クアハウス定期利用者の生活意識、健康意識とクアハウス利用の効果(第２報)　－　３クアハウス間の比較と全体的傾向－	麓　信義	弘前大学教育学部		クアハウス利用実態	健康意識の年代差	スポーツ経験	特性不安	自らの健康
127	12	48	助成研究	上部消化管検査の際の胎児被曝線量についての測定結果	草間　朋子	東京大学医学部　放射線健康管理学教室	太田 勝正(助手)、具 然和(研究生)、斉藤 史朗(大学院生)	妊娠時期	奇形発生	胎児被曝線量	上部消化管検査	照射条件
128	12	51	考察	温泉保養地の開発・運営上の課題	諏訪薗　辰雄	(財)日本健康開発財団		温泉保養地の開発・運営	保健的利用	高齢化社会	温泉リゾート	長期滞在
129	12	61	学会発表・抄録	クアハウス・にみられるオリジナリティー　－医療法人によるクアハウス経営－	桐谷　榮一	(財)日本健康開発財団	岩崎 輝雄、植田 理彦（以上、日本健康開発財団）、太田 義一（千代田テクノエース㈱）	クアハウス	積極的休養	温浴・運動	温泉医学	健康保険制度
130	12	63	学会発表・抄録	東京・八重洲総合健診センターにおける栄養指導に対する受診者の関心度	山越　一恵	(財)日本健康開発財団　東京・八重洲総合健診センター	池田 房江、櫻井 恵、戸松 節子、植田 理彦	栄養指導	受診者の関心度	食生活改善	健康教室	通信教育システム
131	12	68	学会発表・抄録	総合健診におけるＡＦＰ・ＣＲＰのスクリーニング検査法　（Ｌａｔｅｘ）の有用性	山本　由加利	(財)日本健康開発財団　東京・八重洲総合健診センター	星 辰男、谷中 順子、神保 裕美子	総合健診	ＡＦＰ	ＣＲＰ	スクリーニング	ラテックス法
132	13		巻頭言	「地道な研究活動のうえによりよい成果を」	井上　秀人	(財)日本健康開発財団 会長		温泉療法	クアハウス	健診事業	調査研究	高齢化社会

通算	発刊号	ページ	区分	論文タイトル	代表著者	所属団体・機関	共著者（所属団体・機関）	Key Word				
133	13	1	助成研究	歩行による中高年齢者の健康保持・増進に関する研究	平野　裕一	東京大学教育学部体育学・スポーツ科学研究室	久埜 真由美、間野 善之、宮下 充正	中高年者	歩行トレーニング	呼吸循環系機能の改善	運動強度	エクササイズ・ウォーキング
134	13	13	助成研究	温泉地での男子中高年軽度健康異常者の短期保養行動その後の生活習慣に及ぼす影響の検討	大堀　孝雄	東海大学体育学部社会体育学科	上畑 鉄之丞(国立公衆衛生院)、足立 巳幸(女子栄養大学)、針ヶ谷 順子(高知大学)、為荘 優子(労働健康保険組合)、土屋 八千代(国立公衆衛生院)、永野 政子(大浦診療所)、岩崎 輝雄（日本健康開発財団）	温泉地での短期保養実践	積極的健康づくり	軽度成人病所見の中高年者	生活習慣改善	行動変容
135	13	32	助成研究	日本における超高齢者の食生活　－　その実態と背景に関する検討　－	小林　修平	国立健康・栄養研究所	樋口 満（国立健康・栄養研究所）、斉藤 禮子、宇和川 小百合、苫米地 孝之助（以上、東京家政大学）	高齢化社会	超高齢者	食品群別摂取状況	栄養素摂取状況	運動
136	13	40	助成研究	温泉資源を活用した長期滞在型保養地開発適地の総合調査	原　重一	(財)日本交通公社	桐谷 榮一（日本健康開発財団）	温泉資源の活用	長期滞在型保養地	衛生学的配慮	療養環境	都市計画
137	13	56	助成研究	伝統的温泉保養の効果に関する調査（継続）	片桐　進	山形県衛生研究所	東海林 辰雄(山形温泉協会)	湯治	伝統的温泉利用	肘折温泉	入浴効能	地蔵尊井温泉之縁起（文献資料）
138	13	95	参考研究	運動療法の基礎としての運動生理	跡見　順子	東京大学教養学部保健体育科		運動療法	有酸素運動	筋収縮	運動強度	心臓血管反応
139	13	102	考察	温泉の効果的活用についての条件整備に関する考察	諏訪園　辰雄	(財)日本健康開発財団		健康づくり	国民保養温泉地	温泉医学	療養泉	温泉利用指導者
140	13	117	厚生科学研究	温泉その他の保健資源を活用した空間整備方策に関する研究について	岩崎　輝雄	(財)日本健康開発財団	若林 哲夫(石和温泉病院)、千葉 英之(読売新聞社)、富井 一二(野沢温泉村村長)、斉藤 敏一(ディッククリエーション)、井上 恒男(厚生省)	積極的な健康増進	地域経済活性化	余暇活動のニーズ	連続休暇制度	長期滞在型健康リゾート
141	13	131	寄稿論文	アメリカの総合的健康リゾート「キャニオンランチ」	井上　恒男	厚生省保健医療局		事例紹介	ヘルススパ	キャニオンランチ	行動変容	総合的プログラム
142	13	138	学会発表	肥満者における生活習慣と性格上の特徴および血圧と肥満度の関連について　－　有効性の高い減量指導法のための基礎的検討　－	久代　登志男	日本大学医学部総合健診センター	奥村 英孝(愛知県総合保健センター)、高橋 行子(ＰＬ東京健康管理センター)、平野 真澄(ライフ・プランニングセンター)、山越 一恵(東京・八重洲総合健診センター)、柳井 春男(大学入試センター)	肥満	生活習慣	性格	行動変容	減量指導
143	14		巻頭言	「疾病予防への取り組みを」	利光　一夫	(財)日本健康開発財団 会長		自然治癒力	温泉保養システム	クアハウス	温泉利用指導者	医療費控除
144	14	1	助成研究	音楽療法の精神生理学的研究－クアオルトαシステムの開発－	野村　忍	東京大学医学部心療内科	渡辺 茂夫(アメニティデザイン研究所)	ストレス	積極的休養	音楽療法	クアオルトαシステム	生理的心理的反応
145	14	9	助成研究	健康維持増進における保養プログラムを形成する各種の運動・スポーツ・趣味などについて　その効果特性に基づく体系的分類研究	北川　薫	中京大学体育学部	加藤 修一、上濱 龍也(財団法人日本ウェルネス協会)	Ｗｅｌｌ-ｂｅｉｎｇ	運動	栄養	休養	近未来的健康観
146	14	12	助成研究	健康意識とその構造の年齢変化－クアハウス利用者を中心として－	麓　信義	弘前大学		クアハウス利用者	健康意識	健康状態	運動実施頻度	生活満足度
147	14	29	助成研究	温泉資源を活用した長期滞在型保養地開発適地の総合調査(Ⅱ)温泉観光地の保養地化への課題	原　重一	(財)日本交通公社	麦屋 弥生	温泉資源活用	長期滞在型保養地	玉川温泉	環境開発	バーデンバーデン
148	14	42	考察	温泉保養地制度に関する一考察－温泉健康リゾート開発の可能性を探る－	諏訪園　辰雄	(財)日本健康開発財団		温泉保養地制度	温泉と健康	レニングラードのサナトリウム	イタリアのヒューギ温泉	温泉健康リゾート開発
149	14	49	考察	休養の意義	岩崎　輝雄	(財)日本健康開発財団		休養の科学	自然治癒	積極的休養	生態学的認識	ウェルネス
150	14	59	学会発表	化学発光を用いた全自動免疫測定法	神保　裕美子	(財)日本健康開発財団　東京・八重洲総合健診センター	星 辰男、加藤 千彩子（以上、(財)日本健康開発財団　東京・八重洲総合健診センター）、江川 孝則（富士レビオ(株)）	腫瘍マーカーの測定法	ＣＥＡ・ＡＦＰ	化学発光酵素免疫測定法	高感度	簡単迅速
151	14	70	学会発表	当健診センターにおける腹部エコースクリーニングの現況	鈴木　宏子	(財)日本健康開発財団　東京・八重洲総合健診センター	広岡 弥生、福山 清美、小林 梨恵、植田 理彦、春名 英彦、戸松 節子	腹部超音波検査	胆嚢・肝臓・腎臓・膵臓	悪性腫瘍	紹介状	精密検査

通算	発刊号	ページ	区分	論文タイトル	代表著者	所属団体・機関	共著者（所属団体・機関）	Key Word				
152	14	81	紹介	「アジュール竹芝総合健診センター」が運営開始								
153	15		巻頭言	「健全な成人層をつくるために『温泉利用型健康増進施設』」	植田　理彦	(財)日本健康開発財団 副会長		温泉医学	高齢化社会	積極的な健康づくり	クアハウス	国立温泉研究施設
154	15	1	助成研究	水中運動の生理的強度測定法とその運動特性の研究	大道　等	国際武道大学		水中運動	水温・浮力・水圧	生理的強度	運動特性	実験的事例研究
155	15	29	助成研究	エアロビック・ダンスの運動強度に関する基礎的研究	進藤　宗洋	福岡大学体育学部運動生理学研究室	長野 真弓、田中 宏暁、山手 智子、青山 正子、河野 純子	エアロビック・ダンス	運動強度	上肢運動	下肢運動	酸素摂取量
156	15	39	助成研究	集団正常値から見た個人別データの解析	成田　敏弘	東芝医用システム株式会社	星 辰男(日本健康開発財団)	総合健診	集団正常値	個人の生理的変動幅	レーダチャート法	偏差値比較法
157	15	51	助成研究	肘折温泉地保養・療養客調査	片桐　進	山形県衛生研究所	荒井 富(荒井医院)	肘折温泉	保健的利用	温泉療養相談室	温泉療養効果	血液検査
158	15	57	助成研究	高齢者の体力測定法の検討とそのトレーニングへの適用について	伊藤　稔	天理大学体育学部	渡辺 和彦(広島大学教育学部)	高齢者	体力測定法	運動負荷	安全	継続的なトレーニングの効果
159	15	71	考察	韓国における森林の保健的利用の現状	岩崎　輝雄	(財)日本健康開発財団		事例紹介	韓国	森林浴	保険的利用	自然休養林構想
160	15	74	考察	ヘルススパ主体のリゾート保養地から学ぶ－米国のヘルススパの事例から－	金指　征治	(財)日本健康開発財団		事例紹介	アメリカ	ヘルススパ	リゾート保養地	転地効果
161	15	89	学会発表	当健診センターにおける運動負荷テストについての検討	高橋　玲子	(財)日本健康開発財団 アジュール竹芝総合健診センター	柴崎 由美子、佐藤 春美、今野 佳子、矢部 栄美子、手塚 智子、佐藤 恒久、植田 理彦、滝川 玲子（以上、アジュール竹芝総合健診センター）、宮下 充正（東京大学教育学部）	動的健康度	運動負荷テスト	運動習慣	安静時心電図	負荷心電図
162	15	90	学会発表	健康増進のための短期保養による効果	桜井　恵	(財)日本健康開発財団　東京・八重洲総合健診センター	山藤 真理子、志村 則子、上戸 記子、山越 一恵、戸松 節子	クアハウス	保養セミナー	心理学的変化	生活意識の変化	食生活改善
163	16		巻頭言	「健康保養地医学のすゝめ」	阿岸　裕幸	北海道大学医学部 教授		ストレス社会	高齢化社会	健康づくり	温泉気候療法	保養地医学
164	16	1	助成研究	新しい重症心不全の治療法の開発－入浴あるいはサウナによる温熱性血管拡張療法－	田中　信行	鹿児島大学医学部リハビリテーション医学講座	鄭 忠和、堀切 豊、東郷 伸一	重症心不全	温熱性血管拡張作用	循環促進作用	温水浴	サウナ浴
165	16	5	助成研究	加齢にともなう階段昇降能力の検討	武藤　芳照	東京大学教育学部	政二 慶、太田 美穂（以上、東京大学教育学部）、中沢 公彦（国立身体障害者リハビリテーションセンター）、伊藤 晴夫、田中 尚喜、金 景美、木村 貞治（以上、東京厚生年金病院）、半谷 仁子（ASP設計室）	加齢	階段商工能力	脚筋力	バイオメカニクス	理学療法プログラム
166	16	32	助成研究	肘折温泉地保養・療養客調査と療養者の温泉効果に関する考察	片桐　進	山形県衛生研究所	荒井 富(荒井医院)	肘折温泉	生体機能の正常化	食生活状況	血圧	肝機能検査値
167	16	38	助成研究	米国における成人の運動負荷に関する研究	森谷　敏夫	京都大学大学院人間・環境学研究科・応用生理学研究室	林 達也（京都大学医学部）、篠原 稔（東京大学教養学部）、柴田 真志（兵庫県立看護大学）、松本 珠希（四天王寺国際仏教大学）、見正 冨美子（光華女子短期大学）	米国	有酸素運動	運動処方	運動負荷試験	心筋酸素需要・供給バランス
168	16	62	助成研究	アメリカにおける長期滞在型保養施設としてのキャンプ場における野外活動プログラムに関する事例研究	師岡　文男	上智大学文学部	上濱 龍也((財)日本ウェルネス協会)	事例研究	アメリカ	キャンプ場	長期滞在型保養施設	野外活動プログラム
169	17		巻頭言	「厚生行政に役立つ『研究』の意義－助成研究の実効性に思うー」	植田　理彦	(財)日本健康開発財団 副会長		総合健診事業	生活指導	健康保養地制度	健康保養プログラム	健康づくり保養セミナー
170	17	1	助成研究	力発揮からみたウォームアップの基礎的研究	定本　朋子	奈良女子大学文学部 人間行動科学科スポーツ科学講座		ウォームアップ	作業強度	力発揮の効果	促進的効果	抑制的効果

通算	発刊号	ページ	区分	論文タイトル	代表著者	所属団体・機関	共著者（所属団体・機関）	Key Word				
171	17	4	助成研究	健康科学における休養の理論と実験研究	竹宮　隆	筑波大学	西平 賀昭、下田 政博、八田 有洋	積極的休養	飲酒負荷試験	脳波パワースペクトル	指尖容積微分脈波	休養と心の連関
172	17	11	助成研究	ドイツのＫＵＲＯＲＴにおける森林について	村尾　行一	愛媛大学		ドイツ	木と森の文化	林学・林業	エアホールンク機能	ＫＵＲＯＲＴ
173	17	14	助成研究	温泉砂浴の心血管系に対する効果	田中　信行	鹿児島大学医学部リハビリテーション科	川平 和美、日吉 俊紀	温泉砂浴（Sandbath）	温熱療法	砂重・高温	循環促進効果	心臓後負荷の低下
174	17	18	助成研究	温浴後の線溶系・血液粘度の変化および血液粘度の日内変化におよぼす飲酒、飲水の影響に関する研究	白倉　卓夫	群馬大学医学部附属病院草津分院	久保田 一雄、倉林 均、田村 耕成、武 仁、桜井 敏雄、瀬尾 宏行	温浴	血栓性疾患	線維素溶解能	血液粘度	飲酒・水分摂取
175	17	23	考察	日本の温泉保養の在り方と温泉利用型健康増進施設利用の今後－ドイツの温泉保養の歴史を踏まえ日本の歩むべき将来－	岩崎　輝雄	(財)日本健康開発財団		休養のとり方	日独温泉保養事情	クアオルト	クアハウス	温泉利用健康増進施設
176	17	31	学会発表・抄録	ルミパルス システムによるＨＢs抗原測定の基礎的検討	田中　千穂	(財)日本健康開発財団　東京・八重洲総合健診センター	神保 裕美子、加藤 千彩子、星 辰男	ルミパルスシステム	腫瘍マーカー	ＨＢs抗原検査	ＲＩＡ法	健診
177	17	32	学会発表・抄録	健診センターにおいて当日の栄養指導を受ける人を増加させる要因について	志村　則子	(財)日本健康開発財団　東京・八重洲総合健診センター	上戸 記子、山藤 真理子、鷺谷 美枝子、鈴木 真理子、戸松 節子、春名 英彦、植田 理彦（以上、日本健康開発財団）福田 洋、福渡 靖（以上、順天堂大学公衆衛生学教室）	健診センター	栄養指導	当日指導増加の要因	食事記録表	健康状態改善効果
178	18		巻頭言	「運動のすすめ　－身体活動の有効性－」	宮下　充正	東洋英和女学院大学 教授・東京大学 名誉教授		運動遂行能力向上	生活習慣病の予防	危険因子の改善	ストレス解消	社会経済的効果
179	18	1	助成研究	運動ストレスの血中、尿中ミネラルに及ぼすモデルづくり	淵　時雄	放送大学		尿	カルシウム	マグネシウム	リン	クレアチニン
180	18	7	助成研究	週日・週末または休暇中における２４時間心拍変動に関する調査	定本　朋子	奈良女子大学文学部 人間行動科学科スポーツ科学		24時間心拍変動	週日・週末	ストレス	リフレッシュ	自律神経活動
181	18	10	助成研究	クアハウス利用者動態調査	吉田　勝美	聖マリアンナ医科大学	高橋 秀孝(聖マリアンナ医科大学)、伊津 野孝(東邦大学医学部)、杉森 裕樹(昭和大学医学部)	クアハウス	健康増進施設	利用者ニーズ	今後の施設利用あり方	利用実態
182	18	23	助成研究	温泉保養者向け「里山歩き」コースのモデルづくり	宮下　充正	東洋英和女学院大学・東京大学	斎藤 宗治(斎藤ホテル)、野口 秋実(東京大学大学院教育学研究科)	里山歩き	ウォーキング	温泉保養者	モデルコースづくり	心臓機能への影響
183	18	46	助成研究	ヨーガにおけるリラクゼーションの生理・心理的考察	中西　昭憲	フランシスコ・ベニア記念診療所	藤木 健夫(一二三クリニック)	ハタ・ヨーガ	リラクセーション	自己治癒	無意識	ストレスからの開放
184	18	79	学会発表・抄録	ＶＤＴ作業に伴う筋疲労の評価	松本 修一郎	積水化学工業株式会社	植竹 篤志、高沢 要介(以上、積水化学工業㈱)、矢崎 俊樹((財)日本健康開発財団)	ＶＤＴ作業	肩こり	腰痛	局部筋疲労の評価法	筋電図の平均周波数
185	19		巻頭言		植田　理彦	(財)日本健康開発財団		総合健診事業	生活指導	健康増進保養セミナー	健康プログラム	クアハウス
186	19	1	助成研究	「里山歩き」コースを歩くとからだはどのような反応を示すのか	平野　裕一	東京大学大学院教育学研究科		里山歩き	運動強度	ＰＮＳ活動	睡眠	コースの特性と比較
187	19	7	助成研究	効果的な栄養指導プログラムの構築のためのニーズアセスメント及びその指標の開発	福田　洋	順天堂大学医学部公衆衛生学教室	武藤 孝司、福渡 靖	健診事後指導	ニーズアセスメント	栄養診断システム	ＯＭＲ化	生活指導
188	19	13	助成研究	中高年体操教室参加者における血糖値変動の事例研究	波多野　義郎	東京学芸大学健康・スポーツ科学学科	藤枝 賢晴(東京学芸大学)、藤枝 順子、飯泉 浩二、田辺 純子、太田 智子、太田 美佐子、中村 寛孝(以上、朝日生命久我山スポーツセンター)、寺門 節夫、竹内 徹(以上、東京医科大学）、鈴木 志保子(東海大学)、内田 信二、梶原 尚子、曽根 裕二(以上、東京学芸大学)	糖尿病	耐糖能	冠危険因子	運動処方	栄養指導
189	19	24	助成研究	今後の浴場施設のあり方に関する研究	中田　裕久	環境開発デザイン研究所		事例紹介	ドイツの変化	レジャープール	健康休暇	浴場施設の開発・展望

通算	発刊号	ページ	区分	論文タイトル	代表著者	所属団体・機関	共著者（所属団体・機関）	Key Word				
190	19	53	助成研究	大都市におけるアーバンフォレストリー(都市林業)の必要性とその活用の研究	中島　寛人	社団法人日本植木協会　宮崎県地域振興アドバイザー		森林減少	森林の果たす機能・役割	都市緑化計画	アーバンフォレストリー（都市林業）	農林業のスポーツ化
191	19	122	助成研究	ＳＦ－３６を用いた勤労者の健康関連ＱＯＬの測定－全国調査の結果から－	福原　俊一	東京大学大学院医学系研究科	林 洋子	健康関連ＱＯＬ	ｗｅｌｌ-ｂｅｉｎｇ	主観的健康度	医療資源の適切な配分	Ｓ－３６
192	19	129	学会発表・抄録	総合健診受診者の腹部超音波検査結果の検討	福村　有希子	(財)日本健康開発財団　アジュール竹芝総合健診センター	今野 佳子、亀山 栄美子、手塚 智子、岩井 俊道、小林 明男、赤尾 治、天野 朗、植田 理彦	腹部超音波検査	脂肪肝	胆嚢ポリープ	生活習慣病	生活栄養指導
193	19	130	学会発表・抄録	健診機関における事後栄養指導のニーズアセスメント	福田　洋	順天堂大学医学部公衆衛生学教室	武藤 孝司、福渡 靖(以上、順天堂大学)、上戸 記子、志村 則子、山藤 真理子、佐々木 裕子、春名 英彦、植田 理彦(以上、日本健康開発財団)	健診事後栄養指導	ニーズアセスメント	指導内容	電話相談	通信教育
194	19	132	学会発表・抄録	健診教育のニーズアセスメント－－健診機関における事後指導のニーズアセスメントの一例	福田　洋	順天堂大学医学部公衆衛生学教室	武藤 孝司、福渡 靖	ニーズアセスメント	健康教育	栄養・運動指導	随時電話相談	事後指導プログラムの開発
195	20		巻頭言	「研究助成の２５年」	黒部　陸夫	(財)日本健康開発財団 常務理事・研究調査部長		健康づくり事業	温泉療法	気候療法	食事療法	健康保養プログラム
196	20	1	助成研究	海洋療法におけるハイドロマッサージバス適用に対する生理的反応の検討	波多野　義郎	鹿屋体育大学	石井 晶子、鵜野 政男、山本 剛央、保井 夏子(以上、タラソテラピー志摩)	タラソテラピー（海洋療法）	医学的な治療効果	生理的反応	ハイドロマッサージバス	温動水浴
197	20	11	助成研究	総合健診後の事後栄養指導の効果評価－健康習慣の定着とその要因について－	福田　洋	順天堂大学医学部総合診療科	武藤 孝司(順天堂大学医学部)、福渡 靖(山野美容芸術短期大学)	健診事後栄養指導	行動科学的指標	生活習慣の変化	行動変容	3ヶ月
198	20	22	助成研究	２４時間心拍数および心理的変化からみた健康増進運動プログラムの効果	定本　朋子	奈良女子大学大学院 人間文化研究科 複合領域科学専攻		運動プログラム	24時間心拍数	心理的変化	リラックス感	睡眠時
199	20	29	助成研究	沖縄における温浴施設のあり方	塚本　昇三	株式会社スパプランニング		沖縄	長寿	温浴施設	タラソテラピー（海洋療法）	温泉資源の有効活用
200	20	41	学会発表・抄録	運動負荷試験と受診者プロフィール(肥満、血中脂質、日常運動習慣との対比)	松本　真由美	(財)日本健康開発財団 アジュール竹芝総合健診センター	福村 有希子、山西 裕子、伊藤 祥子、村上 陽美、野口 澄子、豊川 秀治	運動負荷試験	肥満	血中脂質値	日常運動習慣	最大酸素摂取量
201	20	42	学会発表・抄録	腹部超音波所見と体脂肪率及び血中脂質値との関連性	今野　佳子	(財)日本健康開発財団 アジュール竹芝総合健診センター	福村 有希子、安部 君一、赤尾 治、野口 澄子、豊川 秀治（以上、アジュール竹芝）、手塚 智子、小林 明男、天野 朗(以上、東京八重洲総合健診センター)	腹部超音波検査	体脂肪率	血中脂質値	脂肪肝	生活習慣改善
202	20	43	学会発表・抄録	化学発光酵素免疫法（ルミパルスフォルテ）によるＨＣＶ弱陽性検体について	中津川　正子	(財)日本健康開発財団 東京八重洲総合健診センター	神保 裕美子、原地 千穂、高橋 典子、星 辰男	ＨＣＶ抗体	スクリーニング検査	化学発光酵素免疫測定法	COI値	肝機能
203	20	49	学会発表・抄録	健康習慣の定着から見た健診事後栄養指導の効果評価	福田　洋	順天堂大学医学部総合診療科	武藤 孝司(順天堂大学医学部)、福渡 靖(山野美容芸術短期大学)	健診事後栄養指導	健康習慣	食習慣	運動習慣	飲酒・喫煙習慣
204	21		巻頭言	「高齢者の自立支援と温泉・温浴施設」	黒部　陸夫	(財)日本健康開発財団 常務理事・研究調査部長		少子高齢社会	介護保険制度	高齢者の生きがい推進	自立支援プログラム	温浴施設活用
205	21	1	助成研究	入浴による高齢者運動耐容能の変化	堀切　　豊	鹿児島大学医学部リハビリテーション医学講座	王 小軍、東郷 伸一、田中 信行	運動耐性	温浴	血流改善	コラーゲン柔軟化	筋骨格系機能の改善
206	21	6	助成研究	慢性呼吸器疾患に対する温泉療法	光延　文裕	岡山大学医学部附属病院	御舩 尚志、保崎 泰弘、谷崎 勝朗	慢性呼吸器疾患	薬剤の副作用	複合温泉療法	水中運動	肺気腫
207	21	9	助成研究	中高年女性の保養・休養ニーズと生活習慣病及び健康状態との関連に関する研究	須藤　紀子	国立公衆衛生院栄養生化学部	山崎 聖美、上畑 鉄之丞	生活習慣病	ストレス	中高年就労女性	保養・休養プログラム	行動変容
208	21	17	助成研究	高齢者の転倒予防に関する研究　－転倒回避能力としての健脚度と平衡機能の評価及び運動プログラムについてー	武藤　芳照	東京大学大学院身体教育学講座	太田 美穂、朴 眩泰、高橋 美絵(以上、東京大学大学院)、上岡 洋晴、岡田 真平(以上、身体教育医学研究所)、黒柳 律雄(東京厚生年金病院整形外科)、上野 勝則(東京厚生年金病院内科)、田中 尚喜、小枚 泰喜(以上、東京厚生年金病院リハビリテーション室)、山田 美穂(日本女子体育大学)	高齢者	転倒予防	健脚度の測定・評価法	平衡機能	運動遊びプログラム

通算	発刊号	ページ	区分	論文タイトル	代表著者	所属団体・機関	共著者（所属団体・機関）	Key Word				
209	21	56	助成研究	老人性痴呆に対する温泉療法の試み	出口　　晃	小山田記念病院	柴田 純也、石川 麻里、川村 直人、川村 憲市	老人性痴呆	温泉療法	夜間入浴	睡眠状態の改善	昼間の活動性向上
210	21	61	助成研究	芳香温浴が睡眠中の血圧・自律神経に及ぼす影響に関するコンピュータモニタリング分析	鏡森　定信	富山医薬大保健医学教室	関根 道和、大村 栄、泉 一郎	アロマセラピー	芳香温浴	ストレス	睡眠感	血圧・自律神経
211	21	65	助成研究	入浴行動の発達的変化と“お風呂”がもつ意味	池田　裕恵	東洋英和女学院大学	宮下 充正、金森 三枝	お風呂	楽しみ	効用	コミュニケーション	家庭教育
212	21	77	助成研究	短期間温泉地保養の精神的効果に関する研究	荒川　光昭	大蔵村診療所	片桐 進(山形県衛生研究所)、荒井 富(荒井医院)	ストレス	短期間の温泉保養	精神的効果	感情プロフィール検査（ＰＯＭＳ）	保養プログラム
213	21	93	学会発表・抄録	眼底写真データベースの構築の一検討～フリーウェアーで安価に作る～	小林　明男	(財)日本健康開発財団　東京・八重洲総合健診センター	神谷 かおり、福島 雅代、嶋野 由樹子、田中 直美、日高 直美、瀧口 真理子、岡野 紀久絵、円谷 みさ子、進藤 良昭、岩井 俊道、岸本 幸雄、天野 朗	眼底写真	安価	ＣＧＩプログラム	デジタル画像	モニター判定
214	21	94	学会発表・抄録	上部消化管造影検査時の発泡剤による受診者への影響軽減について	岩井　俊道	(財)日本健康開発財団　東京・八重洲総合健診センター	小林 明男、進藤 良昭、岸本 幸雄、福田 洋、天野朗	上部消化管造影検査	発泡剤	水	消泡液	バリウム
215	21	95	学会発表・抄録	OMRを用いた生活習慣診断・指導システムの開発	林野　果林	(財)日本健康開発財団　東京・八重洲総合健診センター	山藤 真理子、鈴木 則子、松尾 久恵、福田 洋、天野 朗	栄養指導	生活習慣診断・指導システム	マークシート（ＯＭＲ）式	提出率増加	診断表作成時間短縮
216	21	96	学会発表・抄録	骨密度測定値とライフスタイルとの関係	小池　美智子	(財)日本健康開発財団　アジュール竹芝総合健診センター	佐々木 裕子、長岡 由美、安部 君一、赤尾 治、望月 潔、野口 澄子、豊川 秀治(以上、アジュール竹芝総合健診センター)、小林 明男、天野 朗(以上、東京・八重洲総合健診センター)	骨密度	生活習慣因子	体脂肪	年齢	カルシウム剤服用
217	21	97	学会発表・抄録	生活習慣病の意識調査	横山　志保	(財)日本健康開発財団　アジュール竹芝総合健診センター	荻原 直美、山西 裕子、瀬畠 佳子、小林 由美子、野口 澄子、豊川 秀治	生活習慣病	意識調査	総コレステロール	肥満	生活習慣改善
218	21	99	学会発表・抄録	運動負荷試験結果と動脈硬化危険因子の経年変化	永田　朋子	(財)日本健康開発財団　アジュール竹芝総合健診センター	松本 真由美、加々島 有希子、佐野 由紀、伊藤 祥子、今野 佳子、野口 澄子、豊川 秀治	運動負荷試験	動脈硬化危険因子	最大酸素摂取量	経年変化	運動習慣
219	22		巻頭言	「地域健康資源の活用と健康日本２１」	黒部　陸夫	(財)日本健康開発財団 常務理事・研究調査部長		健康日本２１	健康寿命	地方計画	健康資源	予防医学
220	22	1	助成研究	総合健診における生活習慣診断システムの開発とその信頼性・妥当性の検討	福田　洋	順天堂大学医学部総合診療科	松本 孝夫(順天堂大学医学部)、山藤 真理子(東京・八重洲総合健診センター)	総合健診	生活習慣診断システム	ＯＭＲ方式	食事内容	予防医学
221	22	11	助成研究	心拍数変動解析の新しい方法、トーン・エントロピー法による呼吸－自律神経相互作用、および心身のリラクゼーション効果の測定	笈田　映一	ＷＨＯ循環器疾患予防国際共同研究センター		心拍数変動	トーン・エントロピー法	心臓自律神経機能	リラクゼーション	呼吸の鍛錬
222	22	15	助成研究	温泉保養施設を利用した宿泊型総合健康づくりプログラムの評価	武藤　孝司	順天堂大学医学部公衆衛生学教室	山内 慶太(慶応義塾大学医学部)、木村 隆興(三菱電機ビルテクノサービス(株))	宿泊型健康づくりプログラム	健康改善セミナー	効果の評価	フォローアップ	経済的評価
223	22	25	助成研究	温泉療法のＱＯＬ並びにＡＤＬに及ぼす影響	延永　正	日本温泉気候物理医学会	片桐 進、久保田 一雄、東 威、植田 理彦	温泉療養	outcome評価法	ＱＯＬ評価	Ｆａｃｅ Ｓｃａｌｅ	ＡＤＬ評価
224	22	37	助成研究	立位姿勢の力学的・生理学的解析を基にした直立保持能力の評価方法の検討	政二　慶	東京大学大学院総合文化研究科		姿勢調節機能評価	身体重心速度（ＣＯＭｖｅｌ）	足圧中心位置（ＣＯＰ）	ランダムウォーク	平衡能
225	22	41	社会福祉・医療事業団助成：長寿社会福祉基金	高齢者の自立意識向上支援に関する研究		(財)日本健康開発財団		高齢者の自立	介護予防	社会参加	自立意識向上支援	実態調査
226	22	43	社会福祉・医療事業団助成：長寿社会福祉基金	高齢者の自立意識評価指標の開発	後藤　康彰	(財)日本健康開発財団 研究調査部		高齢者の自立意識	人間交流志向	自己実現志向	社会認知志向	安楽悠々志向
227	22	53	社会福祉・医療事業団助成：長寿社会福祉基金	自立高齢者と中高齢者の社会参加と生きがい	金子　勇	北海道大学大学院文学研究科社会システム科学講座		自立高齢者	中高齢者	社会参加・生きがい	年収	満足感・幸福感

通算	発刊号	ページ	区分	論文タイトル	代表著者	所属団体・機関	共著者（所属団体・機関）	Key Word				
228	22	69	社会福祉・医療事業団助成：長寿社会福祉基金	在宅高齢者の主観的健康感、及び健康習慣確立に影響を及ぼす因子	中村　好一	自治医科大学公衆衛生学		主観的健康感	健康習慣	日常生活動作	適度の運動	社会参加活動
229	22	89	社会福祉・医療事業団助成：長寿社会福祉基金	構成因子の代表指標別分析による高齢者の主観的幸福感に影響を及ぼす要因に関する研究	坂野　達郎	東京工業大学大学院社会理科学研究科		主観的幸福感	高齢者	ＱＯＬ－Ｆ尺度	ADL（健康状態）	社会参加
								現在の幸福	過去の生活への満足	将来に対する期待	自立意識	はりあい
230	22	103	社会福祉・医療事業団助成：長寿社会福祉基金	介護現場における高齢者の自立意識について」～介護保険サービス利用における介護支援専門員の視点から～	河村　優子	介護保険サービスセンター久住		介護保険	介護支援専門員	高齢者の自立意識	デイサービス	ケアプラン
231	22	113	社会福祉・医療事業団助成：長寿社会福祉基金	高齢期における関心と社会参加活動のあり方	前田　一男	北海道日高町町民生活課		在宅高齢者	４つの志向	幸福度	社会参加活動	保健福祉事業
232	22	129	学会発表・抄録	総合健診における「糖尿病検査項目自動分析装置～DM－JACK」の有用性－HbA１ｃについて－	柴野　淳子	(財)日本健康開発財団　東京・八重洲総合健診センター	神保 裕美子、柴田 典子、池北 寛子、星 辰男	総合健診	ＤＭ－ＪＡＣＫ（糖尿病検査）	直線性	同時・日差再現性	相関
233	22	130	学会発表・抄録	ＯＭＲを用いた生活習慣診断・指導システムの開発と評価(第一報)～信頼性について～	福田　洋	(財)日本健康開発財団　東京・八重洲総合健診センター	山藤 真理子、林野 果林、田邉 陽子、天野 朗	総合健診	ＯＭＲ方式	生活習慣診断・指導システム	信頼性（再現性）	ｔｅｓｔ－ｒｅｔｅｓｔ法
234	22	131	学会発表・抄録	ＯＭＲを用いた生活習慣診断・指導システムの開発と評価(第二報)～妥当性について～	山藤　真理子	(財)日本健康開発財団　東京・八重洲総合健診センター	福田 洋、林野 果林、田邉 陽子、天野 朗	ＯＭＲ方式	生活習慣診断・指導システム	妥当性	食事記録調査	事後指導
235	22	132	学会発表・抄録	総合健診におけるＯＭＲを用いた生活習慣診断システムの開発とその信頼性・妥当性の評価(第一報)	福田　洋	順天堂大学医学部総合診療科	松本 孝夫(順天堂大学医学部総合診療科)、武藤 孝司(順天堂大学医学部公衆衛生学教室)、山藤 真理子（日本健康開発財団）	総合健診	ＯＭＲ方式	生活習慣診断システム	信頼性（再現性）	ｔｅｓｔ－ｒｅｔｅｓｔ法
236	22	133	学会発表・抄録	乳房Ｘ線像ＣＡＤにおける一検討	**小林　明男**	(財)日本健康開発財団　東京・八重洲総合健診センター	進藤 良昭、岸本 幸雄、天野 朗	微小石灰化像	乳がん	ＴＰＲ	ＦＰ	エッジ検出
237	23		巻頭言	「研究助成・研究活動の２７年」	黒部　陸夫	(財)日本健康開発財団 常務理事・研究調査部長		国民の健康づくり	自然療法	高齢社会	高齢者の自立意識向上支援	老人保健福祉活動
238	23	1	助成研究	転倒予防から見た施設内入居高齢者への運動指導の方法・内容・効果の検討	小松　泰喜	東京厚生年金病院リハビリテーション科	武藤 芳照(東京大学大学院身体教育学講座教授)、上内 哲男(東京厚生年金病院リハビリテーション科)、上岡 洋晴(身体教育医学研究所研究部長)	高齢者	転倒予防	運動指導	健脚度	重心動揺
239	23	8	助成研究	女性の中高年期における健康づくり－積極的休養法としての水中運動実施が中高年女性の心身の健康水準を高める効果の検討－	清野　彩	北海道大学大学院教育学研究科健康スポーツ科学講座	森 谷絜、小田 史郎、井瀧 千恵子(以上、北海道大学大学院教育学研究科)、福岡 永告子(ヘルシーコミュニケーションネットワーク)	積極的休養法	中高年女性	水中運動	急性効果	長期トレーニング効果
240	23	13	助成研究	健診事後指導ツール「ヘルスマネジメント２１」の開発とその予備的評価」	福田　洋	順天堂大学医学部総合診療科	武藤 孝司(順天堂大学医学部公衆衛生学教室)	ＨＭ２１	健診事後指導	予備的評価	健康自己宣言	ヘルスマネジメント
241	23	23	助成研究	石和温泉水を利用した人工炭酸泉浴の心拍数、心電図Ｒ－Ｒ間隔変動係数(ＣＶＲＲ)におよぼす影響	田中　治幸	石和温泉病院	赤澤 昌学,若林 哲也,東 威,高橋 勇(石和温泉病院)	人工炭酸泉	天然アルカリ単純泉	真水	ＣＶRR	石和温泉
242	23	30	助成研究	農村部における複合施設設立と保健・福祉システムの見直し－北海道日高管内静内町を事例として－	青山　泰子	北海道大学大学院		事例紹介	静内町	福祉的地域特性	健康教育	予防医学
243	23	37	助成研究	防衛体力を向上し、ストレス耐性を強化する積極的休養法としての水中運動に関する研究	森谷　絜	北海道大学大学院教育学研究科健康スポーツ講座	小田 史郎、侘美 靖(以上、北海道大学)、福永 告子(ヘルシーコミュニケーションネットワーク)、渡部(宮島) 成江(札幌市立高等専門学校)	ストレス耐性	積極的休養法	水中運動	ＮＫ細胞活性	防衛体力
244	23	40	助成研究	少子化現象と個人的・社会的支援の実証研究―家族と地域における“社会的健康づくり”の視点から―	片桐　資津子	鹿児島大学法文学部経済情報学科	金子 勇(北海道大学大学院文学研究科教授)	社会的健康づくり	少子化	パラサイト	ワークシェアリング	社会的支援
245	23	42	助成研究	温泉保養施設でのACTIVE REST PROGRAMが睡眠に与える影響	福崎　千穂	東洋英和女学院大学	今井 恭子(国立スポーツ科学センター)	ACTIVE REST PROGRAM	短期滞在型	ウォーキング	副交感神経	睡眠
246	23	48	助成研究	運動実践の強度と量を評価するための心拍反応の検討	平野　裕一	東京大学大学院教育学研究科	志村 広子、石田 和之、澤井 和彦	心拍数	運動強度	有酸素性運動	トレッドミル走	運動習慣の有無

通算	発刊号	ページ	区分	論文タイトル	代表著者	所属団体・機関	共著者（所属団体・機関）	Key Word				
247	23	53	助成研究	高齢者の水中歩行における運動処方に関する研究－運動強度と水温による生理的反応の検討－	清水　富弘	上越教育大学学校教育学部	小坂 光男(中京大学大学院体育学研究科)、藤島 和孝(九州大学健康科学センター)	高齢者	水中歩行	自覚的運動強度	水温	生理的反応
248	23	54	助成研究	温泉療法の免疫機能およびストレスに与える影響－単純泉における検討－	大塚　吉則	北海道大学保健管理センター		温泉療法	ストレス	リンパ球幼若化試験	アレルギー性疾患	抗体産性能
249	23	57	社会福祉・医療事業団助成：長寿社会福祉基金	高齢者の自立意識向上支援に関する研究（第２報）	(財)日本健康開発財団			高齢者の自立	介護予防	社会参加	実態調査	成果物
250	23	60	社会福祉・医療事業団助成：長寿社会福祉基金	高齢者の活動・事業参加目的と「日常生活の関心の方向」の推移	後藤　康彰	(財)日本健康開発財団 研究調査部		日常生活関心の方向	活動・事業参加目的	老人クラブ	保健福祉事業	デイサービス
251	23	69	社会福祉・医療事業団助成：長寿社会福祉基金	在宅高齢者の自立要因分析	金子　勇	北海道大学大学院文学研究科		在宅高齢者	エンパワーメント理論	ＱＯＬの因子分析	自立性	代表的ＱＯＬ（楽しい・得意・趣味）
252	23	88	社会福祉・医療事業団助成：長寿社会福祉基金	在宅要援護高齢者の主観的健康感に影響を及ぼす因子	早坂　信哉,、村　好一	自治医科大学公衆衛生学		主観的健康感	在宅要援護高齢者	定期的通院	主観的ＱＯＬ	社会参加活動
253	23	93	社会福祉・医療事業団助成：長寿社会福祉基金	介護予防事業「脳刺激訓練教室」による地域コミュニティづくり	坂本　惠子	宮古市生活福祉部介護保険課		事例紹介	宮古市	能刺激訓練教室	介護予防	地域コミュニティづくり
254	23	102	社会福祉・医療事業団助成：長寿社会福祉基金	在宅における高齢者の自立意識向上支援について－保健活動をとおして－	田中　陽子	北海道静内町健康推進課		事例紹介	静内町	高齢者の自立意識	保健福祉事業	介護予防
255	23	111	学会発表・抄録	高齢者の自立意識評価指標開発の試み	**後藤　康彰**	(財)日本健康開発財団	黒部 陸夫矢﨑 俊樹(以上、日本健康開発財団)、中村 好一(自治医科大学)、金子 勇(北海道大学大)、坂野 達郎(東京工業大学)、内藤 佳津雄(日本大学)、河村 優子(久住町在宅介護支援センター)、前田 一男(北海道日高町)	高齢者	自立意識向上	評価指標	４つの志向	支援メニューの作成
256	23	112	学会発表・抄録	自己目標設定型健診事後指導ツール「Ｈｅａｌｔｈ Ｍａｎａｇｅｍｅｎｔ２１」の開発	福田　洋	順天堂大学医学部総合診療科	武藤 孝司(順天堂大学医学部公衆衛生学教室)、武田 直人、大嶋 弘子、関谷 栄、礒沼 弘、松本 孝夫、林田 康男(異常、順天堂大学医学部総合診療科)	健診事後指導	ＨＭ２１	行動変容	レーダーチャート	健康宣言
257	23	113	学会発表・抄録	EVALUATION OF A NEW DIABETES PATIENT EDUCATION PROGRAM BY RCT Consisting of a Three-Day Hospitalization and a Six-Month Follow-Up by Telephone Counseling for Mild Type 2 Diabetes and IGT	Hiroshi Fukuda, PhD, MD	Dept. of General Medicine, Juntendo University	Takahashi Muto, PhD, MD(Dept. of Public Health, Juntendo University),Ryuzo Kawamori, PhD, MD(Dept. of Medicine, Metabolism & Endocrinology,Juntendo University)					
258	24		巻頭言	「新・温泉健康づくり元年」	黒部　陸夫	(財)日本健康開発財団 常務理事・研究調査部長		温泉ブーム	健康増進法	大江戸温泉物語	スパ　ラクーア	豊島園庭の湯
259	24	1	助成研究	天然温泉浴のストレス軽減効果と休養効果に関する実証研究	渡部　成江	札幌市立高等専門学校	森谷 絜、橋本 恵子(以上、北海道大学大学院教育学研究科)、阿岸 祐幸（北海道大学医学部）	天然温泉浴	さら湯入浴	人口入浴剤入浴	ストレス軽減効果	休養効果
260	24	8	助成研究	運動と食事が消化器官血流に及ぼす影響　-日常運動と栄養摂取のあり方を求めて-	定本　朋子	奈良女子大学大学院人間文化研究科複合領域科学専攻		日常運動	握力	栄養摂取	消化器官血流	ＳＭＢＦ（上腸間膜動脈血流）
261	24	15	助成研究	介護保険居宅サービス事業者に対する感染予防に関する教育プログラムの作成と評価	中野　匡子	福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座	安村 誠司(福島県立医科大学)、小野 喜代子、長澤 情一、草野 つぎ、丹野 由美子(以上、福島県県北保健福祉事務所)	介護サービス事業者	感染予防マニュアル	自己点検	教育プログラム	事業所管理者研修
262	24	22	助成研究	健診事後指導ツール「ヘルスマネジメント21」の職域における効果評価について	福田　洋	順天堂大学医学部総合診療科	羽二生 知美(順天堂大学医学部公衆衛生学教室)、武藤 孝司(濁協医科大学公衆衛生学講座)	ＮＭ２１	保健指導事業	行動変容	動脈硬化関連疾患	自己管理能力向上
263	24	30	社会福祉・医療事業団助成：長寿社会福祉基金	高齢者の自立意識向上支援に関する研究（第3報）	(財)日本健康開発財団			ゴールドプラン２１	健康長寿	介護予防	社会参加	高齢者の自立意識向上支援トータルシステム
264	24	32	社会福祉・医療事業団助成：長寿社会福祉基金	高齢者類型ごとに見た「高齢者神話」と自立性と趣味・得意の現状	金子　勇	北海道大学大学院文学研究科社会システム科学講座		高齢者神話	要介護高齢者	自立高齢者	自立性	趣味・得意
265	24	43	社会福祉・医療事業団助成：長寿社会福祉基金	日常生活の関心の志向性、および主観的生活の質が高齢者の主観的健康感に及ぼす影響：地域、年齢別の検討	中村　好一	自治医科大学公衆衛生学		高齢者	主観的健康感	日常生活の関心の志向性	主観的生活の質（ＱＯＬ）	地域差

通算	発刊号	ページ	区分	論文タイトル	代表著者	所属団体・機関	共著者（所属団体・機関）	Key Word				
266	24	50	社会福祉・医療事業団助成：長寿社会福祉基金	因子問の因果構造を考慮したSWB（Subjective Well-Being）指標としての自立指標の考え方	坂野　達郎	東京工業大学大学院　社会理工学研究科		自立指標	ＳＷＢ（主観的健康状態）	ＰＷＢ（心理的健康状態）	サクセスフル・エイジング	ＱＯＬ
								自律性・自発性指標	身体的・社会的健康状態	現在の生活満足度	将来への期待	生きがい対策
267	24	72	社会福祉・医療事業団助成：長寿社会福祉基金	SWB指標の自治体間比較に基づく「生きがい対策」事業効果測定の可能性	坂野　達郎	東京工業大学大学院　社会理工学研究科		生きがい対策	福祉の生産アプローチ	Community Care事業	投入資源(resource input)	事業活動（output）
								最終効果(final outcome)	非資源的投入要素(non-resorce inputs)	ＳＷＢ指標	自治体間比較	社会参加機会
268	24	90	社会福祉・医療事業団助成：長寿社会福祉基金	介護予防事業の評価に関する研究　-老人クラブ、介護予防活動参加者の主観的QOLの継時的変化について-	内藤　佳津雄	日本大学文理学部		介護予防	主観的ＱＯＬ	心身機能向上	社会環境改善	継時的変化
								満足感	安定感	活力感	自立心	自信（有能感）
269	24	103	国土交通省・農林水産省・厚生労働省・環境省委託事業	平成14年度都市と農山漁村の健康増進の情報発信・実証支援ネットワーク形成事業（健康増進拠点における温泉活用を中心とした各種プログラムの健康増進効果の実証事業）「温泉利用型健康増進施設の実証事業検討会」報告書	(財)日本健康開発財団			温泉利用型健康増進施設	身体状況改善	心理状況改善	生活習慣改善	健康増進プログラム
270	24	166	学会発表・抄録	健診事後指導ツール「Health Management21」を用いた文書相談の試み	高橋　敏子、山田　佐奈絵	（株）保健同人社	福田 洋、武藤 孝司（以上、順天堂大学医学部）、（財）日本健康開発財団東京・八重洲総合健診センター	ＨＭ２１	文書相談システム	静的な健康教育	動的な健康教育	ＷＥＢ/メール相談
271	25		巻頭言	「健康づくり３０年」	黒部　陸夫	(財)日本健康開発財団 常務理事・研究調査部長		高齢化社会	健康日本２１	予防医学	健康増進施設	温泉入浴指導員
272	25	1	助成研究	積極的休養法・健康づくり法としての水中運動に関する基礎的検討　-水温30°Cまたは34°Cで実施する水中運動の防衛体力改善効果に関する比較研究-	森谷　潔	北海道大学教育学研究科健康スポーツ科学講座	川初 清典(北海道大学)、福岡 永告子(NPO法人ヘルシーコミュニケーションネットワーク)、井瀧 千恵子(札幌医科大学)、侘美 靖(北海道文教大学)、小田 史郎(北海道浅井学園大学)、香坂 雅子(札幌花園病院)	水中運動	水温	感情の変化	睡眠感	防衛体力改善効果
273	25	11	独立行政法人福祉医療機構：長寿社会福祉基金	「高齢者の自立意識向上支援トータルシステム」の開発に関する研究事業	(財)日本健康開発財団			効果的プロモーション	評価マニュアル	健康寿命の延伸	生活の質向上	『Ｐｌａｎ・Ｄｏ・Ｓｅｅ』
274	25	13	独立行政法人福祉医療機構：長寿社会福祉基金	高齢者QOLとQOS理論	金子　勇	北海道大学大学院文学研究科		高齢者ＱＯＬ	因子分析	ＰＰＫ（ピンピンコロリ）	ＱＯＳ（生活の質）	社会的凝集性
275	25	27	独立行政法人福祉医療機構：長寿社会福祉基金	高齢期における生活満足感と都市規模の関連	坂野　達郎	東京工業大学		高齢者の生活満足感	ｗｅｌｌ-ｂｅｉｎｇ	ＱＯＬ	都市人口	社会参加機会
276	25	36	独立行政法人福祉医療機構：長寿社会福祉基金	4種の志向性の組み合わせと主観的QOLについて	内藤　佳津雄	日本大学		人間交流志向	自己実現志向	社会的認知志向	安楽悠々志向	主観的ＱＯＬ
277	25	47	厚生労働省老人保健健康増進等事業	地域と職域の連携・協働による高齢者の自立支援及び健康・生きがい推進に関する研究（概要）	(財)日本健康開発財団			健康寿命の延伸	高齢者の健康・生きがい	老人保健・介護予防事業	地域と職域の連携・協働	先進事例（収集・分析・評価）
278	25	52	厚生労働省老人保健健康増進等事業	高齢者の健康・生きがいづくりに資する「小地域ネットワーク活動」の普及・拡大に関する調査研究	(財)日本健康開発財団			高齢者の健康・生きがい	支え合い	小地域ネットワーク活動	自治体の支援	事例紹介
279	25	157	学会発表・抄録	高齢者の関心志向尺度と活動に対する生きがい感	後藤　康彰、黒部　陸夫、矢崎　俊樹	(財)日本健康開発財団	中村 好一(自治医科大学)、金子 勇(北海道大学)、坂野 達郎(東京工業大学)、内藤 佳津雄(日本大学)、河村　優子(久住町在宅介護支援センター)、坂本 恵子(岩手県宮古市)、田中 陽子(北海道静内町)	高齢者の活動に対する生きがい感	人間交流志向	自己実現志向	社会的認知志向	安楽悠々志向
280	25	158	学会発表・抄録	温泉利用と生活・運動指導を組み合わせた総合的健康教育の有効性に関する研究	上岡　洋晴	身体教育医学研究所	岡田 真平(身体教育医学研究所)、武藤 芳照(東京大学大学院身体教育学講座)、矢崎 俊樹(財団法人日本健康開発財団)	総合的健康教育	温泉入浴	生活・運動指導	行動変容	中高年女性
281	25	159	学会発表・抄録	Scale for detecting in what Japanese elderly people are interested in their daily life	YasuakiGoto	Department of Research,Japan Health & Research Institute	Yoshikazu Nakamura,MD,MPH(Department of Public Health,Jichi Medical School),Rikuo Kurobe,Toshiki Yazaki(Department of Research,Japan Health & Research Institute)					
282	26		巻頭言	「３０年の歩みと課題」	本橋　次彦	(財)日本健康開発財団 理事長		予防医学	健康づくり事業	温泉利用プログラム型健康増進施設	介護予防事業	地域づくり事業
283	26	1	助成研究	スポット尿分析による栄養・健康管理	山末　耕太郎、杤久保　修	横浜市大大学院医学研究科情報システム予防医学	田邊 陽子、安江 三恵子（以上、（財）日本健康開発財団）	スポット尿	除脂肪体重（ＬＢＭ）	クレアチニン	栄養計算	食事分析
284	26	12	助成研究	老人医療費の低下と健康余命が長い地方自治体に関する生態学的研究	上岡　洋晴	東京農業大学地域環境科学部	岡田 真平(身体教育医学研究所)、和泉 ちひろ（雲南市健康福祉部吉田健康福祉センター	老人医療費	健康余命	地方自治体	保健事業	介護予防事業

通算	発刊号	ページ	区分	論文タイトル	代表著者	所属団体・機関	共著者（所属団体・機関）	Key Word				
285	26	23	助成研究	温泉地と非温泉地における要介護者数の比較	延永　正	日本温泉気候物理医学会	山本 一彦	温泉効果	要介護認定率	地域差	高齢人口	医療・介護費の削減
286	26	30	助成研究	抗腫瘍および抗がん転移療法としての温熱刺激の生化学的効能解析	佐藤　隆	東京薬科大学薬学部		温熱刺激	抗腫瘍効果	がん転移抑制効果	Ｃｉｓｐｌａｔｉｎ（抗がん剤）	併用療法
287	26	37	助成研究	温泉保養地の気候環境と天然温泉水のストレス軽減・休養効果の研究	渡部　成江	札幌市立高等専門学校	森谷 絜、角田(矢野) 悦子(以上、北海道大学大学院教育学研究科)、阿岸 祐幸（北海道大学医学部）	天然温泉入浴	ストレス軽減	脳波感性スペクトル値	休養効果	睡眠改善効果
288	26	46	助成研究	脱水が運動誘発性筋痙攣に及ぼす影響	大野　政人	横浜市立大学大学院医学研究科		筋痙攣	脱水	ハムストリング	筋痙攣スコア	痛みスコア
289	26	53	助成研究	淡水と炭酸泉足浴における生理・生化学的変化とユビキタス生体ヘルスセンサーを使ったモニタリング	上馬場　和夫、許　鳳浩、田川　美貴	富山県国際伝統医学センター	大塚 吉則（北海道大学）、伊藤 要子（愛知医科大学）、竹橋 丈繁（三和ライフ・セラ㈱）、近藤 針雄（㈱ケーアンドエス）、唐木 智明（富山県立大学）、鏡森 定信（富山医科薬科大学）	淡水足浴	人工炭酸泉足浴	ユビキタス生体ヘルスセンサー	生理的変化	生化学的変化
290	26	69	独立行政法人福祉医療機構：長寿社会福祉基金	「高齢者の心理状態把握ワークシート」マニュアルの作成	後藤　康彰	(財）日本健康開発財団		高齢者の心理状態	関心の志向性	主観的ＱＯＬ	主観的健康感	社会参加
291	26	73	厚生労働省老人保健健康増進等事業	高齢者の「心理的側面」に基づく効果的な介護予防・自立支援事業の推進に関する研究	(財）日本健康開発財団			介護予防	自立支援	高齢者の心理的側面	関心の志向性尺度	事例紹介
292	26	113	学会発表・抄録	高齢者の主観的状態把握のための簡易ワークシートの開発	後藤　康彰	(財）日本健康開発財団	財団法人日本交通公社、自治医科大学公衆衛生学教室、黒部 陸夫、矢崎 俊樹（以上、日本健康開発財団）、金子 勇（北海道大学）、坂野 達郎（東京工業大学）、内藤 佳津雄（日本大学）、河村 優子（在宅介護支援センター久住）、坂本 恵子（岩手県宮古市）、田中 陽子（北海道静内町）、中村 好一（自治医科大学）	高齢者の主観的状態	ワークシート	ユーザフレンドリー	簡単操作	グラフ化
293	26	114	学会発表・抄録	Scoring Software to support designing programs in terms of independent living for eldely people based on their interests	Yasuaki Goto	Department of Research,Japan Health & Research Institute						
294	26	119	学会発表・抄録	神経回路網による乳房X線CADの有用性の検討	小林　明男	(財）日本健康開発財団　東京・八重洲総合健診センター		乳房Ｘ線ＣＡＤ	バックプロパゲーション	神経回路網	認識率	教師信号
295	27		巻頭言	「今こそもっと温泉の活用を！」	玉井　昭雄	(財)日本健康開発財団理事・研究調査部長		超高齢社会	温泉表示	保養	健康資源	旅と健康
296	27	1	助成研究	健康づくりセミナー(短期温泉地保養)がストレス反応に与える心理的・身体的影響の検討	大内　祐子	早稲田大学大学院　人間科学研究科	野村 忍（早稲田大学 人間科学学術院）	ストレス	メンタルヘルスケア	短期保養プログラム	心理的指標（ＰＯＭＳ、ＧＳＥＳ）	生理的指標
297	27	8	助成研究	温泉地再生への提言に関する調査研究	中田　裕久	財団法人山梨総合研究所	白倉 卓夫（群馬大学）、井上 昌知（社団法人におい・かおり環境協会）、奥村 明雄（財団法人日本環境衛生センター）	温泉地再生	保養的利用	街の個性	長期滞在	環境整備
298	27	15	助成研究	メンタルストレスが血流依存性血管拡張機能に及ぼす影響 -若年女性の黄体期における検討-	定本　朋子	日本女子体育大学	江森 千春、安藤 理沙、岡島 真由美、佐藤 耕平	メンタルストレス	血流依存性血管拡張機能	上腕動脈血流量	血管径	平均血流速度
299	27	23	助成研究	家庭での尿塩分計と血圧計による継続的測定とその効果	山末　耕太郎、杤久保　修	横浜市大大学院医学研究科情報システム予防医学	河野 英一（河野エムイー研究所）、田邉 陽子、安江 三恵子（以上、（財）日本健康開発財団）	家庭での測定	尿塩分計	血圧計	食塩摂取量	塩分排泄量
300	27	30	助成研究	郵送を用いた健診システムの可能性とその利便性の評価および健診結果を遠隔地で一元管理するネットワーク技術の基礎研究	川上　ちひろ、杤久保　修	横浜市大大学院医学研究科情報システム予防医学	蒲浦 光正（財団法人神奈川県予防医学協会）	郵送健診	いつでもどこでも	在宅健診	データー元管理	生活習慣病予防
301	27	37	助成研究	こころの病気を予防するための和食の役割について	間宮　隆吉	名城大学薬学部		和食	大豆(Soybean)	脳機能	運動活性	抗不安活性
302	27	42	助成研究	筋長および筋線維組成が筋痙攣発現に及ぼす影響	村松　茂	横浜市大国際総合科学部	大野 政人（横浜市立大学大学院医学研究科）	筋痙攣	ストレッチング	ハムストリング	筋長	筋線維組成
303	27	51	厚生労働省老人保健健康増進等事業	市町村が実施する介護予防事業の効果・有効性把握のための評価指標開発に関する研究	(財）日本健康開発財団			介護予防事業	評価指標	脳波の周波数ゆらぎ	関心の志向性尺度	人材

通算	発刊号	ページ	区分	論文タイトル	代表著者	所属団体・機関	共著者（所属団体・機関）	Key Word				
304	27	59	受託研究	旅行が心身に及ぼす影響に関する研究 -科学的根拠に基づく旅行商品開発の確立に向けて-	(財）日本健康開発財団			Evidence Based（根拠に基づく）	健康的な旅行	主観的健康感	脳波の周波数ゆらぎ	旅行商品開発
305	27	101	学会発表・抄録	主観的なQOLと旅行行動の関連性	後藤　康彰	(財）日本健康開発財団		主観的ＱＯＬ	旅行行動	ロジスティック解析	観光レクレーション旅行	日常生活からの開放
306	27	102	学会発表・抄録	Relation between travel and self-rated health	Yasuaki Goto	(財）日本健康開発財団						
307	28		巻頭言	「健康増進施設の活用・普及に向けて」	玉井　昭雄	(財)日本健康開発財団 理事・研究調査部長		中国の温泉事情	予防医学	クアハウス	温泉利用プログラム型健康増進施設	温泉文化
308	28	1	助成研究	温泉利用と主観的健康評価及び温泉効果期待との関連 －住民は、温泉の効果をどう感じ、温泉に何を期待しているか？－	岡田　真平	身体教育医学研究所	上岡 洋晴（東京農業大学地域環境科学部教養分野、高橋 亮輔、高橋 美絵（以上、身体教育医学研究所）	温泉利用と健康意識	健康関連ＱＯＬ	ストレス解消	総合的生体調整作用	精神的健康スコア
309	28	9	助成研究	入浴プログラムの検証と温泉保養システム開発における研究と基盤整備	村山　敏夫	財団法人上村病院	小林 倫丈（新潟大学大学院自然科学研究科、上村 晃一（財団法人上村病院）	温泉入浴プログラム	ウォーキング	自律神経活動	生化学検査	温泉保養システム開発
310	28	17	助成研究	塩分摂取量簡易測定器への通信モジュール組み込みとそれを利用した減塩指導	山末　耕太郎、枥久保　修	横浜市大大学院医学研究科情報システム予防医学	河野 英一（河野エムイー研究所）、田邊 陽子、安江 三恵子（以上、（財）日本健康開発財団）	食塩過剰摂取	塩分モニター	通信モジュール	健康づくりセミナー	減塩指導
311	28	25	助成研究	人間ドックにおけるメタボリックシンドローム予防プログラム開発のための疫学的研究	福田　洋	順天堂大学医学部総合診療科	後藤 容子、片山 暁子、木村 影光、羽二生 知美	メタボリックシンドローム	ライフスタイル	行動変容	健診後指導	予防プログラム開発
312	28	37	受託研究	「個々の目的」に応じて選択できる「閉じこもり予防」プログラムの 提供のあり方に関する研究	(財)日本健康開発財団			閉じこもり予防	アクティビティ・プログラム	いやし系	こやし系	どやし系
313	28	43	受託研究	「個別対応強化」に資する「ＱＯＬ向上支援ソフトウエア」の開発と普及に関する研究	(財)日本健康開発財団			ＱＯＬ向上支援	個別対応強化	本人の関心	ユーザーフレンドリー	活動的な85歳
314	28	47	学会発表・抄録	高コレステロール血症と生活習慣改善の関連について	鈴木　直子、葛西　尚	(財)日本健康開発財団 アジュール竹芝総合健診センター	山下 菜穂子、添田 和代、横山 志保、田中 直美、小林 由美子、大山 盛紹、笹川 道三	高コレステロール血症	生活習慣改善	食生活	保健指導	行動変容
315	28	49	学会発表・抄録	Subjective & objective evaluation for the effects to the mood with traveling	後藤　康彰	(財)日本健康開発財団						
316	28	53	学会発表・抄録	Relation between quality of life and interests of elderly peoqle	後藤　康彰	(財)日本健康開発財団						
317	29		巻頭言	「温泉を利用した生活習慣病の改善を目指して」	金瀬　利行	(財)日本健康開発財団 理事・研究調査部長		メタボリックシンドローム	生活習慣病予防	自然療法	温泉入浴指導員	予防医学
318	29	1	助成研究	運動強度、運動時間に運動技術を取り入れた速歩の実践が体力へ及ぼす影響	久保田　晃生	静岡県総合健康センター	館 俊樹、井本 岳秋（以上、静岡県総合健康センター）、小林 寛道（東京大学生涯スポーツ健康科学研究センター）	速歩の有効性	運動強度	運動時間	運動技術	コアストレッチウォーキング
319	29	13	助成研究	親を巻き込んだ若年者生活習慣病予防プログラムに関する実証研究	古川　照美	弘前大学大学院保健学研究科	木藤 江里子（南部町健康増進課）、木田 和幸（弘前大学大学院保健学研究科）	生活習慣病の低年齢化	若年生活習慣病予防プログラム	中学生	親子健康面談	親の生活習慣
320	29	21	助成研究	身体活動と死亡の関連について－ＪＭＳコホート研究－	早坂　信哉	浜松医科大学健康社会医学講座	柴田 陽介、野田 龍也、村田 千代栄、尾島 俊之（以上、浜松医科大学）、石川 鎮清、梶井 英治、中村 好一（以上、自治医科大学）、萱場 一則（埼玉県立大学）、後藤 康彰（日本健康開発財団）	身体活動度（ＰＡＬ）	前向き研究	ＪＭＳコホート研究	総死亡	自殺
321	29	31	受託研究	中高齢者のメタボリックシンドローム対策のためのコーチング技術の開発と普及に関する研究	(財）日本健康開発財団			保健指導	メタボリックシンドローム対策	コーチング	行動変容	先進事例
322	29	39	受託研究	Web版「QOL向上支援ソフトウエア」の開発と普及に基づく、介護予防支援に関する研究	(財）日本健康開発財団			ＱＯＬ向上支援ソフトウェア	Ｗｅｂ版	介護予防支援	パーソナルユース	グラフィック表示

通算	発刊号	ページ	区分	論文タイトル	代表著者	所属団体・機関	共著者（所属団体・機関）	Key Word				
323	29	43	学会発表・抄録	Psychophisiological effects of bathing in hot spring evaluated by EEG	Yasuaki Goto	(財）日本健康開発財団						
324	30		巻頭言	「温泉を利用した健康増進施設の更なる普及・開発を推進して・・・」	金瀬　利行	(財)日本健康開発財団 理事・研究調査部長		新型インフルエンザ対策	健康ツーリズム	温泉地の活性化	グループコーチング	予防医学
325	30	1	助成研究	温泉旅館における快眠を実現するために最適な行動パターンの研究	島川　崇	東北福祉大学総合マネージメント学部	水野 康、水野 一枝	温泉旅館での快眠	入浴	温泉旅行行動パターン	ＰＯＭＳ	ＯＳＡ睡眠調査票
326	30	25	助成研究	温泉による運動器疼痛の治療効果に関する、非ランダム化比較試験のシステマティック・レビュー	上岡　洋晴	東京農業大学地域環境科学部	岡田 真平（一般財団法人身体教育医学研究所）、北湯口 純、鎌田 真光（以上、雲南市身体教育医学研究所うんなん）	温泉療法	ｎＲＣＴ（非ランダム化比較試験）	ＳＲ（システマティック・レビュー）	運動器	関節疾患
327	30	43	助成研究	温泉を利用した健康づくりに関する検討	早坂　信哉	浜松医科大学健康社会医学講座	柴田 陽介、太田 啓介、三戸 はるか、長谷川 拓也、安田 孝子、尾島 俊之（以上、浜松医科大学）、杉村 格（川根温泉ふれあいの泉）、後藤 康彰（日本健康開発財団）	運動＋温泉浴	ランダム化比較試験	水中運動	ＰＯＭＳ	QOL改善
328	30	53	助成研究	温泉入浴による糖代謝の改善に関する研究 ～入浴時の体温上昇による糖処理率およびインスリン反応の変化～	下堂園　恵	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科リハビリテーション医学	松元 秀次、川平 和美（以上、鹿児島大学）、二宮 宏二（クオラリハビリテーション病院）	温熱	体温上昇	糖代謝	経静脈的糖負荷試験（ＩＶＧＴＴ）	インスリン反応
329	30	59	助成研究	入浴直後に見られる血圧上昇作用メカニズムの解明	谷田　守	立命館大学生命科学部応用生理学研究室		入浴死	血圧上昇メカニズム	自律神経活動	ヒスタミンＨ１	心拍数減少
330	30	65	助成研究	温泉・リゾート滞在型健康増進プログラム開発 ～セロトニン神経と身体や心を強めるヘルスツーリズムの実証実験～	関山 タマミ	東邦大学医学部大学院統合生理学	有田 秀穂（東邦大学）、宮川 明子（自然療法スクールマザーズオフィス）、横岡 実（ＪＴＢ北海道）	セロトニン神経	ヘルスツーリズム	心理的ストレス軽減	アロマテラピー	体験型旅行プログラム
331	30	87	受託研究	中高齢者のメタボリックシンドローム対策のためのコーチング技術の開発と普及に関する研究 －グループ相互支援型行動変容コーチング－	(財）日本健康開発財団			メタボリックシンドローム対策	生活習慣改善	保健指導	コーチング	グループ型行動変容プログラム
332	30	107	受託研究	健康生きがいづくりに資する休養に関する研究 ～適切な睡眠・入浴のあり方の普及、温泉のエビデンスづくりに資する基礎的研究～	スタンフォード大学Ｓleep and Ｎeurobiology Ｌab (財）日本健康開発財団			休養	入浴	睡眠	セルフモニタリングツール	主観的健康感
333	30	125	学会発表・抄録	Ｓoftware to support older adults based on their interests in daily life and social activities	Yasuaki Goto	(財）日本健康開発財団						
334	30	126	学会発表・抄録	保健指導専門職と地域住民の心理的特性	後藤　康彰	(財）日本健康開発財団	金瀬 利行、矢崎 俊樹（以上、日本健康開発財団）、早坂 信哉、尾島 俊之（以上、浜松医科大学）、中村 好一（自治医科大学）	保健指導専門職	地域住民	関心の志向性	コミュニケーション特性	円滑な対話
335	31		巻頭言	「温泉利用による健康づくり・健康増進の更なる普及に向けて」	伊澤　豪晃	(財）日本健康開発財団 理事・研究調査部長		温泉利用型健康増進施設	温泉利用プログラム	「温泉と健康」検定	生活習慣改善	予防医学
336	31	1	助成研究	温泉湯足浴による眼底血流改善効果	竹谷 太	奈良県立医科大学　眼科学教室		溺死	温泉足浴	眼底血流	ＬＳＦＧ	血流速度
337	31	7	助成研究	温泉による運動器疾患の予防効果に関するコホート研究のシステマティック・レビュー	上岡　洋晴	東京農業大学地域環境科学部身体教育学研究室		運動器疾患	温泉による骨折予防	論文スクリーニング	ＣＳ（コホート研究）	ＳＲ（システマティック・レビュー）
338	31	15	助成研究	水中ウォーキングの身体的・精神的効果に関する研究	早坂　信哉	浜松医科大学健康社会医学講座	柴田 陽介、安田 孝子、 野田 龍也、尾島 俊之（以上、浜松医科大学）、長谷川 拓也（日本薬科大学）、杉村 格（川根温泉ふれあいの泉）、後藤 康彰（日本健康開発財団）	水中ウォーキング	ランダム化比較試験（ＲＣＴ）	ＰＯＭＳ	ヘモグロビンＡ１ｃ	トリグリセリド
339	31	21	助成研究	温泉施設を利用した筋肉減少症予防のための温泉・栄養・運動プログラム	齋藤　京子	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 自立促進と介護予防チーム		筋肉減少症	温泉利用	複合的介入プログラム	ＱＯＬ	運動機能増進
340	31	31	受託研究	中高齢者のメタボリックシンドローム対策のためのコーチング技術の開発と普及に関する 研究―グループ相互支援型行動変容コーチング	(財）日本健康開発財団			メタボリックシンドローム対策	グループコーチング	行動変容	保健指導	介護予防
341	31	37	受託研究	健康生きがいづくりに資する休養に関する研究 ―適切な睡眠・入浴のあり方の普及	(財）日本健康開発財団			健康生きがいづくり	質の良い睡眠	入浴習慣普及	メタボリックシンドローム対策	介護予防

通算	発刊号	ページ	区分	論文タイトル	代表著者	所属団体・機関	共著者（所属団体・機関）	Key Word				
342	31	43	学会発表・抄録	Relation between readiness for behavior change and psychological assets of Japanese adults	Yasuaki Goto	(財）日本健康開発財団						
343	31	44	学会発表・抄録	Relation Between Subjective Reported Health And Daily Behavior of Japanese adult	Yasuaki Goto	(財）日本健康開発財団						
344	31	45	学会発表・抄録	Effecfs of underwater exercise on quality of life and psychological states in Kawane Spa: a randomized controlled trial (Kawane Spa Study)	Shinya Hayasaka	浜松医科大学健康社会医学講座		水中運動	温泉入浴	無作為化比較試験	ＳＦ-８	生活の質（ＱＯＬ）
345	31	49	学会発表・抄録	Bathing in a bathtub and health conditions: a cross-sectional study	Shinya Hayasaka	浜松医科大学健康社会医学講座						
346	32		巻頭言	「研究年報第３２巻発刊にあたって」	早坂　信哉	(財）日本健康開発財団 研究調査部長		予防医学	健康保養プログラム	温泉利用型健康増進施設	温泉入浴指導員	生活習慣改善
347	32	1	助成研究	腰痛予防に関する予備的調査	杉山　ちなみ	NPO法人エイミック	早坂 信哉、柴田 陽介（以上、浜松医科大学）、高橋 満季(マリンスパあたみ）、内田 實（NPO法人エイミック）、後藤 康彰((財）日本健康開発財団）	膝痛予防	温熱療法	ストレッチング	関節可動域	ＶＡＳ
348	32	13	助成研究	温泉施設利用型総合健康増進プログラムの開発と評価-メタボリックシンドローム予防のための運動・栄養・温泉プログラム-	齋藤　京子	東京都健康長寿医療センター研究所　自立と介護予防チーム		メタボリックシンドローム予防	温泉療法	運動療法	食事療法	総合健康プログラム
349	32	23	助成研究	入浴と運動の健康増進効果の比較-入浴と200m走の循環、代謝、末梢血組成の変化-	田中　信行	日本温泉気候物理医学会、大勝病院リハビリテーション科	宮田 昌明、下堂園 恵(以上、鹿児島大学病院）、出口 晃（小山田記念温泉病院）、國生 満（大勝病院）	入浴	２００ｍ走	健康増進効果	温熱性血管拡張	代謝改善
350	32	31	助成研究	水浴と空気浴が呼吸循環機能に及ぼす影響	大城戸　道生	浴育研究会	植田 理彦	水浴	空気浴	血圧低下	呼吸運動	直腸温
351	32	47	共同研究	温泉浴の入眠・熟眠効果の検討と実験動物を用いたその作用機序の解明	西野　精治	スタンフォード大学医学部睡眠・生体リズム研究所	(財）日本健康開発財団	睡眠障害	温泉浴	入眠・熟眠効果	体温変化	深部体温と皮膚温の変動
352	32	57	自主研究	IT環境を活用した持続的な行動変容支援に関する研究（第１報）-年間を通じた効果的な健康づくり支援サービスに向けて-	後藤　康彰	(財）日本健康開発財団		持続的な行動変容	ＩＴ環境活用	カラダカラ	メタボ撃退プログラム	ちょっと頑張る目標
353	32	67	資料	健康づくりハンドブックグループコーチング編	(財）日本健康開発財団			グループコーチング	行動変容	スクリーニング	アイスブレイク	メタボ撃退
354	32	99	資料	入浴習慣と要介護認定者数に関する前向きコホート研究	日本温泉気候物理医学会温泉療法医会		分析協力：(財）日本健康開発財団	入浴習慣	介護保険移行率	介護予防効果	温泉利用	運動習慣
355	32	109	学会発表・抄録	Relation between subjective health status and daily bathing behaviors of Japanese adult	Yasuaki Goto	(財）日本健康開発財団						
356	33		巻頭言	「研究年報第33号発刊にあたって」	稲葉　孝典	（一財）日本健康開発財団　研究調査部長		温泉療法	温泉利用型健康増進施設	温泉入浴指導員	温泉利用指導者	国民の健康づくり
357	33	1	助成研究	デルフィー・コンセンサス法を用いた温泉介入におけるチェックリストの開発：SPACチェックリスト	上岡　洋晴	東京農業大学地域環境科学部	川村 陽一（医社団主体会）、津谷 喜一郎（東京大学大学院）、前田 眞治(国際医療福祉大学大学院)、早坂信哉（日本健康開発財団）、奥泉　宏康（東御市みまき温泉診療所）、岡田 真平（公益財団法人身体教育医学研究所）、飯島 裕一（信濃毎日新聞社）	温泉浴	温泉療法	チェックリスト	研究の質評価	施設の特性
358	33	21	助成研究	短時間内白血球亜群の量的調節に関する足浴、全身浴の比較	山口　宣夫	石川天然薬効物質研究センター 石川県白山市観光課	竹井 孝文、内藤 陽子(以上、石川天然薬効物質研究センター)、松野 栄雄（金沢医科大学氷見市民病院耳鼻咽喉科）	温泉療法	ストレス	温泉浴	ＱＯＬ向上	高齢化社会
359	33	29	助成研究	温熱効果のテロメアDNA老化性変化への影響の解析	前田　豊樹	九州大学病院別府病院内科（循環・呼吸・老年病内科）		温泉浴	ストレス	温泉療法	細胞長寿効果	疼痛緩和
360	33	37	助成研究	温泉を用いた運動浴の生活の質（QOL）に与える影響	松元　秀次	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 運動機能修復学講座 リハビリテーション医学		温泉療法	運動浴	リハビリテーション	ＱＯＬ向上	温熱

通算	発刊号	ページ	区分	論文タイトル	代表著者	所属団体・機関	共著者（所属団体・機関）	Key Word				
361	33	45	助成研究	蒸気を伴う高温サウナ浴が動脈硬化度指標に及ぼす影響	吉岡　　哲	香川大学医学部公衆衛生学	山口 英峰（吉備国際大学社会学部スポーツ社会学科）、西村 一樹（広島工業大学環境学部地球環境学科）、小野寺 昇（川崎医療福祉大学医療技術学部健康体育学科）	入浴	運動	サウナ浴	温熱	熱刺激による交感神経系の亢進
362	33	55	助成研究	温泉利用プログラム型健康増進施設を利用した生活習慣改善のための温泉・栄養・運動プログラムに関する研究	阿部　貴弘	日本体育大学研究員		温泉	生活習慣改善	健康増進プログラム	行動変容プログラム	運動
363	33	65	自主研究	入浴方法が心身に与える影響－ランダム化比較試験－	（一財）日本健康開発財団 温泉医科学研究所			入浴	生活習慣改善	ストレス	湯船	シャワー
364	33	75	共同研究	温熱暴露がラットの生体リズムに与える影響	（一財）日本健康開発財団 温泉医科学研究所		西野精治（スタンフォード大学医学部睡眠・生体リズム研究所）	入浴	温熱作用	睡眠	交感神経	休養
365	33	84	学会発表・抄録	入浴に関連した体調不調／事故の発生頻度	早坂　信哉	（一財）日本健康開発財団 温泉医科学研究所　所長						
366	33	84	学会発表・抄録	日本人中高年齢者の入浴習慣と主観的健康感との関連	後藤　康彰	（一財）日本健康開発財団 温泉医科学研究所　主任研究員						
367	34		巻頭言	「研究年報第34巻発刊にあたって」	栗原　茂夫	（一財）日本健康開発財団　理事長						
368	34	1	助成研究	温浴プログラムによるがんリスクの低減	奴久妻　智代子	株式会社ソアラメディカル、東京ソアラクリニック	福田 智信、渥美 和彦（以上、東京ソアラクリニック）	全身温熱療法	遺伝子発現解析	がんリスク	予防医療	
369	34	11	助成研究	放射能泉の利用における被ばく線量評価のためのラドン分析検討および実態調査	森　康則	三重県保健環境研究所	志村 恭子（三重県保健環境研究所）、川村 陽一（小山田記念温泉病院）、出口 晃（小山田記念温泉病院）、美和 千尋（愛知医療学院短期大学リハビリテーション学科）、石川 敏夫（放射線医学総合研究所規制科学研究プログラム）、安岡 由美（神戸薬科大学放射線管理室）					
370	34	21	助成研究	地域住民の行動変容を目指した温泉資源と地域環境の活用による保養モデルの開発	村山　敏夫	新潟大学教育学部	山口 智子（新潟大学教育学部生活環境学科）、豊島 剛志（同大理学部地質科学科）、本田 明治（同大委g区部自然環境科学科）、白井 述（同大人文学部人文学科）、田中 誠二（同大教育学部保健体育健康スポーツ科学講座）					
371	34	29	助成研究	全身渦流浴が心臓自律神経系調節および動脈硬化度指標に及ぼす影響	吉岡　　哲	香川大学医学部公衆衛生学	山口 英峰（吉備国際大学社会学部スポーツ社会学科）、西村 一樹（広島工業大学環境学部地球環境学科）、関 和俊（流通科学大学サービス産業学部スポーツ健康マネジメントコース）、依田 健志、平尾 智広（以上、香川大学医学部公衆衛生学）	全身渦流浴	動脈スティフネス	血流	血圧	循環応答
372	34	39	助成研究	温水療法がⅡ型糖尿病の治療に有用である分子機序の解明－骨格筋の熱応答反応による身体運動様作用に着眼して－	越中　敬一	新潟医療福祉大学健康科学部		温水刺激	骨格筋	ラット		
373	34	43	助成研究	足湯が脊髄損傷者の自律神経系機能、循環系機能および免疫系機能に及ぼす影響	福嶋　利浩	佐賀大学全学教育機構	井手 將文（佐賀大学全教育機構）、堀川 悦夫（同大医学部）	足浴	鼓膜温	交感神経活動	副交感神経活動	加速度脈波
374	34	51	助成研究	若年女性における月経前症候群（ＰＭＳ）軽減に及ぼす早朝入浴の影響	野瀬　由佳	安田女子大学家政学部	小倉 有子（安田女子大学家政学部家政学部管理栄養学科）、西村 一樹（広島工業大学環境学部地球環境学科）、藤原 有子、小野寺 昇（以上、川崎医療福祉大学医療技術学部健康体育学科）、松本 希（就実短期大学幼児教育学科）、山口 英峰（吉備国際大学社会学部スポーツ社会学科）	早朝入浴	月経前症候群	むくみ	冷え	
375	34	61	助成研究	休日の身体運動と温泉入浴が労働者の心身に与える影響	志村　広子	東京大学大学院教育学研究科	東郷 史治（東京大学大学院教育学研究科）、斎藤 宗治（㈱斎藤ホテル）、岡田 真平（(公財)身体教育医学研究所）	心身の健康	身体運動	温泉	労働者	介入研究
376	34	71	助成研究	人口炭酸泉を用いた睡眠への効果の検証と健康増進への提案	上村　佐知子	秋田大学大学院医学系研究所	若狭 正彦、齊藤 明（以上、秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻理学療法学講座）、清水 和美、伊藤 若子、神林 崇、清水 徹男（同大学院同科医学専攻病態制御医学系精神科学講座）、杉山 俊博（同大学院同科同専攻分子機能学・代謝機能学講座）、西野 精治（スタンフォード大学医学部精神神経・行動科学講座/睡眠・サーカディアンリズム研究所）	人工炭酸泉	睡眠	体温		
377	34	81	自主研究	入浴方法が睡眠の質に与える影響－入浴方法が心身にもたらす影響（2報）－	後藤　康彰、早坂　信哉	（一財）日本健康開発財団　温泉医科学研究所						
378	34	89	自主研究	温泉地滞在が心身にもたらす影響	後藤　康彰、早坂　信哉	（一財）日本健康開発財団　温泉医科学研究所						

通算	発刊号	ページ	区分	論文タイトル	代表著者	所属団体・機関	共著者（所属団体・機関）	Key Word				
379	34	95	温泉医科学研究所業績									
380	35		巻頭言	「研究年報第35巻発刊にあたって」	栗原　茂夫	（一財）日本健康開発財団　理事長						
381	35	1	助成研究	温泉による介入研究のためのチェックリスト「SPAC」を用いての先行研究の評価：今後の研究方法の課題	上岡　洋晴	東京農業大学地域環境科学部	津谷 喜一郎（東京大学大学院医薬政策学講座）、前田 眞治（国際医療福祉大学大学院リハビリテーション学分野）、早坂 信哉（大東文化大学スポーツ・健康科学部）、後藤 康彰（㈶日本健康開発財団）、奥泉 宏康（東御市みまき温泉診療所）、岡田 真平（(公財)身体教育医学研究所）、北湯口 純、安部 孝文（以上、雲南市立身体教育医学研究所うんなん）					
382	35	13	助成研究	人材交流を目的とする温泉利用指導者・入浴指導員のネットワーク構築の取り組み	池山　香	新潟大学大学院	尾山 裕介（新潟大学大学院）、村山 敏夫（新潟大学教育学部保健体育健康スポーツ科学講座）					
383	35	21	助成研究	入浴における温まりの保温効果の検討－温泉大浴槽入浴と家庭用浴槽入浴の比較－	島崎　博也	小山田記念温泉病院	川村 皓生、水谷 真康、鈴村 恵理、出口 晃（以上、小山田記念温泉病院）、美和 千尋（愛知医療学院短期大学）、森 康則（三重県保健環境研究所）	入浴	温泉大浴槽	家庭用浴槽	体温	血流速度
384	35	35	助成研究	関節液検査を用いた変形性膝関節症に対する温泉療法の有効性に関する研究	岩切　健太郎	白庭病院関節センター、白浜はまゆう病院整形外科						
385	35	41	助成研究	入浴習慣が中心動脈圧に与える影響－24時間中心動脈圧ミニタリングにおける検討－	石川　譲治	自治医科大学医学部循環器内科						
386	35	45	助成研究	休日の身体運動と温泉入浴による労働者のストレス軽減効果の解明	志村　広子	東京大学大学院教育学研究科	東郷 史治（東京大学大学院教育学研究科）、岡田 真平（(公財)身体教育医学研究所）、武藤 芳照（日本体育大学日体大総合研究所）	心身の健康	身体運動	温泉	労働者	介入研究
387	35	55	助成研究	日本の温泉の総合研究・教育振興システムの構築研究	森　繁哉	NPO法人健康と温泉フォーラム	星 憲一朗、合田 純人（以上、NPO法人健康と温泉フォーラム）、樽井 由紀（奈良女子大学）					
388	35	61	温泉医科学研究所業績									
389	36		巻頭言	「研究年報第36巻発刊にあたって」	栗原　茂夫	（一財）日本健康開発財団　理事長						
390	36	1	助成研究	入浴の持つアンチエイジング効果に関する研究	小原　克彦	愛媛大学大学院医学系研究科		入浴習慣	湯温	動脈硬化	BNP	骨塩量
391	36	7	助成研究	妊婦に対する温泉浴の効果の検証	佐藤　喜根子	東北大学大学院医学系研究科	坂田 あゆみ、佐藤 恵、及川 真紀、樋渡 麻衣（以上、東北大学大学院医学系研究科保健学専攻周産期看護学分野）、西郡 秀和（同大学院同研究科産科婦人科学分野）、齋藤 秀光（同大学院同研究科保健学専攻精神看護学分野）					
392	36	17	助成研究	人工炭酸泉欲が骨格筋のコンディショニングを向上させ自律神経機能を整える可能性の検討	山本　憲志	日本赤十字北海道看護大学	橋本 眞明（帝京科学大学医療科学部東京理学療法学科）					
393	36	27	助成研究	ソーシャルキャピタルｎ向上を目指した地域の温泉資源による健康づくり活動の推進	森　康則	三重県保健環境研究所	出口 晃、島崎 博也、川村 皓生（以上、小山田記念温泉病院）、美和 千尋（愛知医療学院短期大学）、一色 博、山本 昌宏、西中 隆道（以上、三重県保健環境研究所）					
394	36	35	助成研究	湯治目的の重症患者が集う温泉地と地域医療体制の協調に関する研究	加藤　礼識	奈良県立医科大学健康政策医学講座						
395	36	45	助成研究	温泉利用指導者の全国組織設立と人材ネットワーク構築による地域活性への波及効果	村山　敏夫	新潟大学人文社会・教育科学系	池山 香（新潟大学大学院教育学研究科）					
396	36	53	助成研究	我が国の温泉医学振興のあり方に関する研究　温泉医科学研究と入湯税	三友　紀男	仙台社会保険病院	P.J.バロン（東京医科学大学国際情報センター教授）、合田 純人（NPO法人健康と温泉フォーラム常任理事）					
397	36	61	温泉医科学研究所業績									

通算	発刊号	ページ	区分	論文タイトル	代表著者	所属団体・機関	共著者（所属団体・機関）	Key Word				
398	37		巻頭言	「研究年報第37巻発刊にあたって」	栗原　茂夫	（一財）日本健康開発財団　理事長						
399	37	1	助成研究	硫化水素によるタンパク質修飾を介した病態予防効果	上原　孝	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科薬効解析学		硫化水素	硫化水素産生酵素	タンパク質酸化	システイン残基	神経細胞
400	37	7	助成研究	環境を重視したヘルスツーリズムの可能性－中央ヨーロッパ保養地を事例として－	加賀美　雅弘	東京学芸大学教育学部地理学研究室						
401	37	15	助成研究	温熱療法による脾能回復を介した、肥満に伴う認知症の発症予防の取組み	後藤　孔郎	大分大学医学部内分泌代謝・膠原病・腎臓内科学講座		肥満	脾臓	IL-10	脳由来神経栄養因子	
402	37	23	助成研究	妊婦に対する温泉浴の安全性の検証－妊娠初・中・末期別と温泉泉質別－	佐藤　喜根子	東北大学大学院医学系研究科保健学専攻周産期看護学分野	坂田 あゆみ、佐藤 恵、及川 真紀、樋渡 麻衣（以上、東北大学大学院医学系研究科保健学専攻周産期看護学分野）、西郡 秀和（同大学院同研究科産科婦人科学分野）、齋藤 秀光（同大学院同研究科保健学専攻精神看護学分野）					
403	37	35	助成研究	温熱によるがんの殺細胞効果の分子レベルでの機構解明－温熱による相同組換え修復の誘導－	髙橋　昭久	群馬大学・重粒子線医学研究センター	森 英一朗（奈良県立医科大学・不車線腫瘍医学講座）					
404	37	42	助成研究	ストレスマーカーを用いたジェットバス入浴の効果の検討	田村　京子	大東文化大学スポーツ・健康科学部	大塚 裕子、太田 眞（以上、大東文化大学スポーツ・健康科学部）					
405	37	51	温泉医科学研究所業績									

（日本健康開発雑誌）

406	38		巻頭言	「日本健康開発雑誌第38発刊にあたって」	栗原　茂夫	（一財）日本健康開発財団　理事長						
407	38	1	原著	地域医療連携における「先進・優良事例」の検討	西本　莉紗恵	奈良県立医科大学公衆衛生学講座	岡本佐和子、野田 龍也、今村 知明（以上、奈良県立医科大学公衆衛生学講座）	地域包括ケア病棟	地域医療連携	ICT	認知症	地域医療構想
408	38	11	原著	レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)の臨床研究における名寄せの必要性と留意点	久保　慎一郎	奈良県立医科大学公衆衛生学講座	野田 龍也、明神 大也（以上、奈良県立医科大学公衆衛生学講座）、東野 恒之（㈱三菱総合研究所ICTイノベーション事業本部）、松居 宏樹（東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学）、加藤 源太（京都大学医学部付属病院診療報酬センター）、今村 知明（奈良県立医科大学公衆衛生学講座）	NDB	診療報酬データ	名寄せ	突合	データベース
409	38	20	原著	子育て家庭における幼児の入浴習慣	園田　巌	東京都市大学人間科学部児童学科		入浴	幼児	生活習慣	子育て	保育所
410	38	28	原著	山形県庄内地域における入浴事故の実態と気温との関連性について	松田　友子	山形大学大学院医学系研究科公衆衛生学講座	田中 敦（山形大学大学院理工学研究科）、松田 徹（(公財）ときわ会　竹林貞吉記念クリニック）、阿彦 忠之（山形県健康福祉部）、川崎 良（山形大学大学院医科系研究科・公衆衛生学講座）	入浴事故	気温	発生日	山形県庄内地域	
411	38	39	助成研究	温熱療法が骨格筋ミトコンドリアを増加させるメカニズムの解明－がん抑制遺伝子ｐ53に着目して－	田村　優樹	日本体育大学運動生理学研究室/総合スポーツ科学研究センター		温熱刺激	ミトコンドリア	ｐ53	骨格筋	
412	38	46	助成研究	足湯が眼底および脳の循環に与える影響	林　直亨	東京工業大学リベラルアーツ研究教育院	宮路 茜（東京工業大学大学院社会理工学研究教育院）					
413	38	51	助成研究	入浴による食欲、深部体温、食欲調整ホルモンへの影響（A Pilot Study）	中村　毅	小山田記念温泉病院	岩倉 浩（和歌山県立医科大学内科学第一講座）	入浴	入浴温度	食欲	深部体温	食欲調節ホルモン
414	38	60	助成研究	足湯浴が食後の消化管活動ならびに食事誘発性熱産生にあたえる効果	鍛島　秀明	県立広島大学人間文化学部健康科学科						
415	38	67	助成研究	入浴後の立ちくらみの起こし易さの機序解明－動脈ステイフネスおよび圧受容器反射感受性の関与－	菅原　順	特定国立研究開発法人産業技術総合研究所人間情報研究部門	東本 翼（特定国立研究開発法人産業技術総合研究所人間情報研究部門）	温水浴	動脈圧反射感受性	動脈硬化度	下肢血管抵抗	

通算	発刊号	ページ	区分	論文タイトル	代表著者	所属団体・機関	共著者（所属団体・機関）	Key Word				
416	38	75	助成研究	保養温泉地の現状と展望～「温泉利用型健康増進施設」活性化に向けた調査～	野添　ちかこ	NPO法人健康と温泉フォーラム研究員/温泉と宿のライター/（一社）日本温泉協会理事		温泉利用型健康増進施設	医療費控除の申請	保養温泉	温泉療法医	厚生労働省
417	38	79	助成研究	温泉を核としたヘルスツーリズム取組地域と「健康経営」需要のマッチング促進に関する研究	野村　宗嗣	㈱ＪＴＢコーポレートセールス霞が関第一事業部						
418	39		巻頭言	「日本健康開発雑誌第39発刊にあたって」	栗原　茂夫	（一財）日本健康開発財団　理事長						
419	39	1	原著	入浴後皮膚乾燥と入浴中塗布化粧品の保湿効果	早坂信哉	(一財）日本健康開発財団温泉医科学研究所 東京都市大学人間科学部	後藤 康彰、栗原 茂夫（以上、(一財)日本健康開発財団温泉医科学研究所）	入浴	皮膚乾燥	化粧品	保湿	
420	39	6	原著	ストレス解消入浴法は体温を1.1℃上げる	石澤太市	（株）バスクリン	伊藤 要子（(一社)HSPプロジェクト研究所）、鳥居 和樹、綱川 光男、谷野 伸伍（以上、㈱バスクリン）	入浴	体温	リラックス	ストレス解消	唾液アミラーゼ
421	39	16	助成研究	酸化ストレスを制御する泉質の探索	坂井　隆浩	高崎健康福祉大学薬学部薬学科細胞生理科学研究室		酸化ストレス	活性酸素種	泉質	温泉療法	
422	39	22	助成研究	海藻風呂に関する研究－カジメ類の抗酸化性－	久田　孝	東京海洋大学学術研究院食品生産科学部門		海藻風呂	カジメ類	アラメ	抗酸化性	
423	39	30	助成研究	温熱による抗腫瘍効果の真の標的解明と臨床・創薬への応用	榎本　敦	東京大学大学院医学系研究科・疾患工学センター・放射線分子医学部門	深澤 毅倫（東京大学医学部付属病院皮膚科）	温熱療法	抗腫瘍効果	プロテオーム解析	タンパク質分解	
424	39	37	助成研究	都市部地域住民を対象とした入浴とメタボリックシンドローム罹病リスクとの関係に関する追跡研究	小久保　喜弘	国立循環器病研究センター予防健診部		入浴	入浴頻度	入浴形態	季節性	メタボリックシンドローム
425	39	46	助成研究	温熱療法にともなう体温に依存した遺伝子発現のコントロール	程　久美子	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻		体温	遺伝子発現	温熱療法		
426	39	54	助成研究	温熱効果を高めるシャワー方法の検討	秋山　雅代	北海道大学大学院教育学院	大塚 吉則（北海道大学大学院教育研究院）	足湯	シャワー浴	温熱効果		
427	39	62	助成研究	冷え性の病態と原因に関する研究－舌下温、体表温、静脈血ガスとタダラフィル内服の効果－	田中　信行	鹿児島大学	皆川 翼、大久保 健作（以上、社会医療法人社団大久保病院）	冷え性	深部温	一酸化窒素	静脈血ガス分析	タダラフィル
428	40		巻頭言	「日本健康開発雑誌第40発刊にあたって」	栗原　茂夫	（一財）日本健康開発財団　理事長						
429	40	1	原著	大分県における温泉及び自宅入浴のWeb大規模調査	亀田　佐知子	東京都市大学子ども家庭福祉研究センター	早坂 信哉（東京都市大学子ども家庭福祉研究センター）、斉藤 雅樹（東海大学海洋学部）、佐藤 栄介、壽福 良平（以上、㈱APC） 藤内 修二、藤本 紀代美（以上、大分県福祉保健部健康づくり支援課）	温泉入浴	自宅入浴	心身の変化や効果	大分県職員	web調査
430	40	14	原著	直腸性便秘に対する看護実践の介護保険施設間の比較	内藤　智義	浜松医科大学臨床看護学講座	倉田 貞美（浜松医科大学臨床看護学講座）、牧野 久美子（元浜松医科大学臨床看護学講座/桜美林大学老年学総合研究所）、中村 美詠子、 岡田 栄作、尾島 俊之（以上、浜松医科大学健康社会医学講座）	直腸性便秘	介護保険施設	看護実践		
431	40	22	原著	銭湯利用と健康指標との関連	早坂　信哉	東京都市大学人間科学部/ 総合研究所こども家庭福祉研究センター	亀田 佐知子（東京都市大学人間科学部/総合研究所こども家庭福祉研究センター）、野々村 雅之、栗原 茂夫（(一財)日本健康開発財団温泉医科学研究所）	銭湯入浴	利用者	横断調査	ソーシャルキャピタル	
432	40	31	原著	運動後の入浴方法の違いが睡眠の質に及ぼす影響	大平　雅子	滋賀大学教育学部	山田雄大（滋賀大学教育学部/滋賀県立愛知高等学校）	入浴	運動	睡眠		
433	40	40	報告	岩手県久慈市、三重県明和町におけるヘルスツーリズムの取り組み－3か月間のウォーキングプログラムの試行と介入調査－	佐羽根　博一	㈱ＪＴＢ仙台支店	後藤 澄子、早坂 信哉、後藤 康彰（以上、(一財)日本健康開発財団）、高橋 伸佳（㈱ＪＴＢ総合研究所）	ヘルスツーリズム	ウォーキング	行動変容		
434	40	48	助成研究	入浴死の病態に関与するバイオマーカーの網羅的解析：入浴事故を減らすための基礎的研究	林　敬人	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科社会・行動医学講座法医学分野		入浴死	温水溺死モデル	網羅的解析	アクアポリン	熱ショック蛋白

通算	発刊号	ページ	区分	論文タイトル	代表著者	所属団体・機関	共著者（所属団体・機関）	Key Word				
435	40	56	助成研究	足浴が自律神経活動に及ぼす効果を反映する自律神経機能検査の確立	石川　正昭	兵庫県立尼崎総合医療センター耳鼻咽喉科・頭頸部外科		足浴	瞳孔対光反射	心拍変動		
436	40	67	助成研究	高齢者の浴槽入浴頻度と抑うつ傾向発症との関連－JAGES縦断分析	八木　明男	千葉大学医学部付属病院和漢診療科	近藤 克則（千葉大学予防医学センター）、早坂 信哉（東京都市大学人間科学部）、尾島 俊之（浜松医科大学健康社会医学講座）	抑うつ	入浴	高齢者	予防医学	パネルデータ
437	40	74	助成研究	蒸しタオルを利用した簡便な温冷交互刺激と組み合わせた日本人のための気候療法プログラム	金山　ひとみ	福井大学医学部国際社会医学講座環境保健学領域	平井 一芳（福井県立大学看護福祉学部看護学科）、井上 博行（福井大学国際地域学部国際地域学科総合グローバル領域）、佐藤 一博（福井大学医学部国際社会医学講座環境保健領域）	気候療法	海洋性気候	温冷交互刺激	冷え症	蒸しタオル
438	40	90	助成研究	同位体をトレーサとしたラドン子孫核種の体内動態に関する研究	迫田　晃弘	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センター	神﨑 訓枝、田中 裕史（以上、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センター）、片岡 隆浩、山岡 聖典（以上、岡山大学大学院保健学研究科）	ラドン	トロン	子孫核種	体内動態	吸入
439	40	95	助成研究	標準地域における「『新・湯治』効果測定調査プロジェクト」のパイロットスタディ	森　康則	三重県保健環境研究所	西 智広、吉村 英基（以上、三重県保健環境研究所）	新・湯治	温泉地	健康状態		
440	40	105	助成研究	豊富温泉入浴によるアトピー性皮膚炎抑制メカニズムの解明	村上　慎之介	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科		温泉入浴	アトピー性皮膚炎	豊富温泉		
441	41		巻頭言	「日本健康開発雑誌第41発刊にあたって」	石田　心	（一財）日本健康開発財団　理事長						
442	41	3	総説	新型コロナウイルス感染症流行下での高齢者の生活への示唆：JAGES研究の知見から	木村　美也子	聖マリアンナ医科大学 予防医学教室	尾島 俊之（浜松医科大学健康社会医学講座）、近藤 克則（千葉大学予防医学センター社会予防医学研究部門/国立長寿医療研究センター/老年学･社会科学研究センター）	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	高齢者	孤立	社会参加	閉じこもり
443	41	17	原著	銭湯利用頻度と主観的幸福感の関連：インターネット・リサーチによる横断研究	早坂　信哉	(一財)日本健康開発財団温泉医科学研究所 東京都市大学人間科学学部/ 総合研究所子ども家庭福祉研究センター	樋口 善英、野々村 雅之、栗原 茂夫（以上、(一財)日本健康開発財団温泉医科学研究所）	銭湯	公衆浴場	入浴	主観的幸福感	横断調査
444	41	23	原著	通所リハビリテーション利用高齢者の趣味に関する実態調査	吉本　和樹	四天王寺大学看護学部看護学科	清水 昌美（千里金蘭大学看護学部看護学科）、井内 律子（大津市議会議員）、兎澤 恵子（神奈川工科大学看護学部看護学科）	通所リハビリテーション	デイケア	高齢者	趣味	実態調査
445	41	33	原著	日本における災害被災地での入浴支援に関する研究	原岡　智子	活水女子大学看護学部看護学科	池田 真幸（防災科学技術研究所災害家庭研究部門）、早坂 信哉（東京都市大学人間科学部児童学科）、尾島 俊之（浜松医科大学医学部健康社会医学講座）	自然災害	入浴	被災者	支援者	
446	41	44	原著	シリアンハムスターの体温調節における脳内硫化水素とその産生経路の役割	渡邊　正知	福山大学 薬学部	門田 麻由子、田村 豊（以上、福山大学薬学部）	低体温	硫化水素	シスタチオニンβ-シンターゼ		
447	41	52	原著	マイクロバブルバス入浴の心身の主観的評価	早坂　信哉	東京都市大学人間科学部 (一財)日本健康開発財団温泉医科学研究所	島津 智行、松枝 和輝、岩﨑 拓也、野々山 昌生（以上、リンナイ㈱ 技術開発部機器技術開発室）	入浴	マイクロバブル	Visual Analog Scale	筋硬度	
448	41	58	原著	カシス由来ポリフェノール摂取による冷え性改善効果およびシャワー浴後保温効果に関するパイロット・スタディ	早坂　信哉	(一財)日本健康開発財団温泉医科学研究所 東京都市大学人間科学部	樋口 善英（(一財)日本健康開発財団温泉医科学研究所/作新学院大学経営学部スポーツマネジメント学科）、倉重 恵子、曽我 俊博（以上、㈱明治フードマテリア機能性素材事業部）	カシス	ポリフェノール	アントシアニン	シャワー浴	体温
449	41	67	助成研究	足浴が成人男性、消化器がん患者の食欲、胃の電気活動に与える影響	中島　勇樹	広島大学病院診療支援部リハビリテーション部門	岩城 大介、筆保 健一（以上、広島大学病院診療支援部リハビリテーション部門）、河江 敏広（東都大学幕張ヒューマンケア学部理学療法学科）、木村 浩彰（広島大学病院リハビリテーション科）、岡村 仁（広島大学大学病院医系科学研究科）	足浴	食欲	胃電図		
450	41	73	助成研究	妊娠中のプール歩行による腎機能改善：短期効果	財津　將嘉	東京大学医学部	吉原 達也（医療法人相生会福岡みらい病院臨床研究センター）、久保田 史郎（久保田生命科学研究所）	プール	歩行	妊娠高血圧	腎機能	レニン系
451	41	79	助成研究	筋力トレーニング後の入浴が筋肥大効果に及ぼす影響－筋タンパク質合成系および分解系に着目した検討－	小谷　鷹哉	日本体育大学	田村 優樹、中里 浩一（以上、日本体育大学）、石井 直方（東京大学）	レジスタンス運動	温熱刺激	筋タンパク質合成	mTORC1	筋タンパク質分解
452	41	87	助成研究	温泉施設で働く従業員のための英会話ｅラーニング教材の開発	カレイラ松崎順子	東京経済大学全学共通教育センター		温泉施設	従業員	英会話	インバウンド	教材
453	41	94	助成研究	豊富温泉入浴によるアトピー性皮膚炎抑制メカニズムの解明	村上　慎之介	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科	石井 愛海（慶應義塾大学環境情報学部）	温泉入浴	アトピー性皮膚炎	豊富温泉		

通算	発刊号	ページ	区分	論文タイトル	代表著者	所属団体・機関	共著者（所属団体・機関）	Key Word				
454	42		巻頭言	「日本健康開発雑誌第42発刊にあたって」	石田　心	（一財）日本健康開発財団　理事長						
455	42	3	総説	日本の農業従事者における慢性的な運動器疾患に関する情報：総説	上岡　洋晴	東京農業大学大学院	町田 怜子（東京農業大学地域環境学部）	農業従事者	運動器疾患	生活の資	農福連携	
456	42	15	原著	大豆、及び米糠発酵物からの血圧降下ペプチドの単離・同定	冨永　隆生	（株）ラフィーネインターナショナル	小川 暁郎（㈱ラフィーネインターナショナル）、清水 厚志、渡邉 和孝、渡邉 和晃（以上、オリエンタルバイオ㈱）	発酵大豆ペプチド	ACE阻害	降圧作用		
457	42	21	原著	全身入浴またはシャワー浴の入浴習慣がその後のHSP入浴法に及ぼす影響	伊藤　要子	一般社団法人HSPプロジェクト研究所	石澤 太市（㈱バスクリン製品開発部）、多田井 幸揮（修文大学健康栄養学部管理栄養学科）、綱川 光男（㈱バスクリン製品開発部）	ヒートショックプロテイン（HSP70）	HSP入浴法	全身入浴	入浴習慣	健康
458	42	31	原著	大豆発酵エキスのアルツハイマー型認知症に対するin vitroでの評価	冨永　隆生	（株）ラフィーネインターナショナル	小川 暁郎（㈱ラフィーネインターナショナル）、清水 厚志、渡邉 和孝、渡邉 和晃（以上、オリエンタルバイオ㈱）	大豆発酵エキス	アルツハイマー病	アミロイドβ	NGF様作用	
459	42	37	原著	カシス由来ポリフェノール摂取による認知機能　（注意・集中力）向上効果に関するパイロット・スタディ	倉重　恵子	（株）明治フードマテリア	曽我 俊博（㈱明治フードマテリア）、横山 和仁（国際医療福祉大学大学院公衆衛生学選考/順天堂大学医学部衛生学講座）	カシス	ポリフェノール	アントシアニン	P300	θ波
460	42	49	原著	COVID-19パンデミック以前のビジネス目的の温泉地滞在とワーケーションへの展開－全国「新・湯治」効果測定調査プロジェクトによる結果から－	森　康則	三重県保健環境研究所	斉藤 雅樹（東海大学海洋学部）、早坂 信哉（東京都市大学人間科学部/温泉医科学研究所）	COVID-19	コロナ禍	ワーケーション	新・湯治	温泉地
461	42	57	原著	行政データを用いた障害福祉サービス利用状況分析－施設入所者と地域生活者の状態像比較－	今橋　久美子	国立障害者リハビリテーションセンター研究所	北村 弥生、飛松 好子（以上、国立障害者リハビリテーションセンター） 岩谷 力（長野保健医療大学）	障害福祉計画	自立支援給付	障害支援区分		
462	42	62	原著	一般公衆浴場（銭湯）における温浴、温冷交代浴の心身への影響の検討	早坂　信哉	(一財)日本健康開発財団温泉医科学研究所 東京都市大学総合研究所子ども家庭福祉研究センター	亀田 佐知子（東京都市大学総合研究所子ども家庭福祉研究センター）、早坂 健杜（自治医科大学医学部）、三橋 浩之、石田 心（以上、（一財）日本健康開発財団）	銭湯	温冷交代浴	コルチゾール	オキシトシン	
463	42	69	原著	マウスを用いた和温療法に対するリポタンパク質代謝の影響	辻田　麻紀	古屋市立大学大学院医学研究科　神経生化学	松下佐知（愛知学院大学歯学部生化学）、高瀬弘嗣（岐阜大学医学部/名古屋市立大学大学院医学研究科）	和温療法	HDL	ABCA1	PCSK9	マウス
464	42	77	原著	新型コロナウィルス感染症流行時に市町村保健センターが抱えた課題	鳩野　洋子	九州大学大学院医学研究院保健学部門	弓場 英嗣（株式会社社会保険研究所）、島田 美喜（社会福祉法人至誠学舎立川児童事業本部）、尾島 俊之（浜松医科大学健康社会医学講座）、増田 和茂（公益財団法人健康・体力づくり事業財団）	新型コロナウィルス感染症	感染拡大	市町村保健センター	課題	
465	42	87	助成研究	核内ストレス顆粒形成を標的とした効果的なハイパーサーミア増感剤の探索	渡邉　和則	岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科		ハイパーサーミア	温熱増感剤	核内ストレス顆粒		
466	42	94	助成研究	人工知能を用いた温泉療法の健康効果の検証とヘルスケアの個別化の実現化	山田　朋英	キングスカレッジロンドン生命医科学部/東京大学大学院医学系研究科糖尿病代謝内科	庄嶋 伸浩、山内 敏正（以上、東京大学大学院医学系研究科糖尿病代謝内科）、Chia-lin Lee（台中軍人病院）、野間 久史（統計教理研究所）	人工知能	臨床医学	ニューラルネットワーク	システマティックレビュー	
467	42	105	助成研究	入浴習慣が課題依存性の前頭前野賦活化に与える影響の解明	大篭　友博	大阪河﨑リハビリテーション大学 リハビリテーション学部		入浴習慣	前頭前野	脳血流	記憶課題	注意課題
468	43		巻頭言	「日本健康開発雑誌第43発刊にあたって」	石田　心	（一財）日本健康開発財団　理事長						
469	43	3	原著	地域在住高齢者の摂食・嚥下機能と生活習慣との関連性	内藤　智義	浜松医科大学臨床看護学講座	山田正己（帝京科学大学医療科学部看護学科）、中村美詠子、尾島俊之（以上、浜松医科大学　健康社会医学講座）	地域在住高齢者	摂食・嚥下機能	生活習慣		
470	43	13	原著	新型コロナウイルス感染症拡大における児童期の子どももをもつ家庭の現状と課題	亀田　佐知子	東京都市大学総合研究所子ども家庭福祉研究センター	井戸ゆかり、園田巌、横山草介、早坂信哉（以上、東京都市大学総合研究所子ども家庭福祉研究センター）	COVID-19	学童期 子ども	小学校	教育	家庭
471	43	27	原著	全国「新・湯治」効果測定調査（2018-2020年度）	早坂　信哉	(一財）日本健康開発財団温泉医科学研究所	樋口善英（(一財)日本健康開発財団温泉医科学研究所）、三橋浩之、高橋栄、石田心（以上、(一財)日本健康開発財団）	新・湯治	環境省	温泉	入浴	全国調査
472	43	39	原著	マイクロバブルバス入浴の角層水分量・保湿への影響	早坂　信哉	東京都市大学人間科学部	岩間優子、野々山昌生（以上、リンナイ株式会社　開発本部）	入浴	マイクロバブル	角層水分量	保湿	Visual Analog Scale

通算	発刊号	ページ	区分	論文タイトル	代表著者	所属団体・機関	共著者（所属団体・機関）	Key Word				
473	43	45	原著	高齢者における一般公衆浴場（銭湯）通所による体力・運動能力の改善	早坂　信哉	温泉医科学研究所/東京都市大学総合研究所	早坂健杜（自治医科大学医学部）、亀田佐知子（東京都市大学総合研究所子ども家庭福祉研究センター）、樋口善英（(一財)日本健康開発財団温泉医科学研究所）、三橋浩之、石田　心（以上、(一財)日本健康開発財団）	銭湯	介護予防	体力測定	高齢者	入浴
474	43	51	原著	循環器代謝系検査値と生活習慣の関連： 浜松ウェルネスプロジェクト　健康ビッグデータ解析	中村　美詠子	浜松医科大学健康社会医学講座	兼子実優、杉山結衣（以上、浜松医科大学医学部医学科）、赤松友梨（浜松医科大学健康社会医学講座/聖隷健康診断センター）、武藤繁貴（聖隷健康診断センター）、尾島俊之（浜松医科大学健康社会医学講座）	血圧	血糖	LDLコレステロール	肥満	食べる速度
475	43	61	助成研究	乳児期の温泉入浴が皮膚機能と食物アレルギー発症に及ぼす影響	古賀　寛史	国立病院機構 別府医療センター 小児科		dermatitis	infant	care	natural	springs
476	43	67	助成研究	飲泉による認知症の発症進展予防の検討に関する研究	後藤　孔郎	大分大学医学部 内分泌代謝・膠原病・腎臓内科学講座		飲泉	腸内環境	脳内炎症		
477	43	73	助成研究	細胞培養系を用いた種々の抗がん治療のマイルドハイパーサーミア併用によるがん細胞抑制効果向上の検証	前田　豊樹	九州大学病院別府病院 内科	堀内孝彦（九州大学病院別府病院 内科）	細胞培養	ハイパーサーミア	がん		
478	43	79	助成研究	シャワー浴やバスタブ浴など温熱習慣の違いが慢性腎臓病の予後に及ぼす影響	飯山　準一	熊本保健科学大学 保健科学部 リハビリテーション学科	岩下桂弘（熊本保健科学大学保健科学部リハビリテーション学科）、魏長年（熊本大学大学院　生命科学研究部 環境保健医学/NPO法人アジアヘルスプロモーションネットワーク）	慢性腎臓病	全身温熱習慣	予後		
479	43	87	助成研究	温熱療法による筋萎縮予防効果の検討とそのメカニズムの解明	池上　諒	新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 理学療法学科		温熱療法	筋肥大	徐神経		
480	44		巻頭言	「日本健康開発雑誌第44発刊にあたって」	横山　弘	（一財）日本健康開発財団　理事長						
481	44	3	原著	医療経済学系研究人材を取り巻く環境と課題	石川鎮清	自治医科大学情報センター	木村哲也（国立ハンセン病資料館）、中村好一（自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門）、近藤克則（千葉大学予防医学センター/国立長寿医療研究センター）、尾島俊之（浜松医科大学健康社会医学）、菅原琢磨（法政大学経済学部）	医療経済学	研究人材の育成	半構造化面接		
482	44	13	原著	従業員食堂での機能性食品の摂取と健康診断測定値との関連：摂取状況と週当たりの頻度による補足解析	白井禎朗	金城学院大学 生活環境学部	佐久間理英（福岡女子大学国際文理学部）、中村美詠子（浜松医科大学健康社会医学講座）	従業員食堂	大豆	大麦	LDLコレステロール	収縮期血圧
483	44	21	原著	未就学児における浴槽入浴による心身の変化と入浴剤使用頻度、保護者の入浴に関する背景因子との関連	小番美鈴	株式会社バスクリン	井戸ゆかり、早坂信哉（以上、東京都市大学人間科学部）	未就学児	浴槽入浴	入浴剤	入浴法	保護者
484	44	33	原著	温泉地を活用したワーケーションが心身に与える影響	後藤康彰	（一財）日本健康開発財団	西尾真由美、田中秀宗、芳賀康平、有泉健（以上、ビッグローブ株式会社）	ワーケーション	温泉入浴	温泉地の活性化	健康	ワークライフバランス
485	44	45	原著	風情ある環境でのフォト・ウォークラリーと温泉入浴の組み合わせが気分や睡眠に及ぼす影響	入部祐郁	熊本県立大学 環境共生学部	永利梨乃、松本直幸（以上、熊本県立大学環境共生学部）	フォト・ウォークラリー	温泉入浴	風情ある環境	主観的睡眠感	
486	44	55	原著	ウルトラファインバブルを含むシャワーの角層水分量・保湿への影響	早坂信哉	東京都市大学人間科学部/温泉医科学研究所	古川真也、松枝和輝（以上、リンナイ株式会社開発本部）	シャワー	入浴	ウルトラファインバブル	角層水分量	保湿
487	44	63	助成研究	温熱刺激はマイトファジーを誘導するのか？	井上敬一	新潟大学大学院 医歯学総合研究科 機能制御学分野		マイトファジー	ミトコンドリア	温熱刺激		
488	44	69	助成研究	地域住民健診コホートの高齢者における入浴習慣と健康長寿との探索的研究	宮田昌明	鹿児島大学 医学部 保健学研究科	益満智美、和田麗、竹ノ内千紗、津曲真二（以上、鹿児島大学医学部保健学研究科）、窪園琢郎、大石充（以上、鹿児島大学医歯学総合研究科心臓血管・高血圧内科学）	入浴習慣	温泉	睡眠時間	睡眠効率	CAVI
489	44	75	助成研究	カルシウム-塩化物泉がヒト表皮の遺伝子発現に引き起こす変化	原口省吾	昭和大学医学部生化学講座/昭和大学大学院医学研究科加齢内分泌分野		カルシウムイオン	カルシウム-塩化物泉	表皮	トランスクリプトーム解析	
490	44	81	助成研究	子宝の湯の謎-不妊治療への有効性検証に関する研究	河村和弘	順天堂大学大学院 医学研究科 産婦人科		子宝の湯	卵巣機能不全	不妊治療		
491	44	87	助成研究	伊豆長岡温泉の既存足湯および移動式足湯「モバイル足湯」を用いた社会実験の利用者実態調査とアクティビティ調査による温泉地の活性化に向けた基礎調査	伊藤まゆみ	東京工業大学 環境・社会理工学院 建築学系	今井裕久（法政大学 デザイン工学部、現代福祉学部）、佐々木和之（滋賀県立大学 環境科学部）、鴨下記久枝（一般社団法人伊豆長岡温泉エリアマネジメント）	足湯	社会実験	モバイル足湯	利用者実態調査	コミュニティ

通算	発刊号	ページ	区分	論文タイトル	代表著者	所属団体・機関	共著者（所属団体・機関）	Key Word				
492	44	97	助成研究	温泉地ワーケーションにおけるプログラム介入が睡眠脳波に与える影響	芳賀康平	ビッグローブ株式会社 社長室	後藤康彰（一般財団法人日本健康開発財団研究調査部）	睡眠の質	高濃度炭酸泉	湯治	ワーケーション	ワークライフバランス
493	45		巻頭言	「日本健康開発雑誌第45発刊にあたって」	加藤　典嗣	（一財）日本健康開発財団　理事長						
494	45	3	原著	認知症高齢患者へのシャワー浴が患者と看護師に与える気分の変化と生理学的影響	龍　由季乃	昭和大学大学院 保健医療学研究科 保健医療学専攻 博士後期課程、医療法人社団恵仁会 府中恵仁会病院	田中 晶子(昭和大学 保健医療学部 看護学科）、内山 秀彦（東京農業大学 農学部 動物科学科）、永澤 巧（東京農業大学大学院 農学研究科 動物科学専攻）	シャワー浴	オキシトシン	コルチゾール	看護ケア	
495	45	13	原著	入浴時における湯温度、水位、年齢、性別が体温変化に及ぼす影響：体温推定式の試み	石澤太市	株式会社バスクリン	伊藤 要子（(一社)HSPプロジェクト研究所）、中西 信之、松本 圭史、綱川 光男（以上、㈱バスクリン）	入浴	体温	補正係数	体温予測	
496	45	21	原著	短期間の温泉地滞在における入浴以外の活動の主観的な効果：全国「新・湯治」効果測定調査プロジェクトデータに基づく二次研究	関口 陽一	独立行政法人経済産業研究所	早坂 信哉（東京都市大学 人間科学部、(一財)日本健康開発財団 温泉医科学研究所）	ウェルネスツーリズム	新・湯治	温泉地	健康増進	
497	45	33	原著	高校教員におけるパラリンピックの視聴状況および視聴経験者の特徴	柴田 陽介	浜松医科大学 健康社会医学講座	栗田 泰成（浜松医科大学 健康社会医学講座、常葉大学 健康科学部 静岡理学療法学科）、森下 佳穂（浜松医科大学 健康社会医学講座、聖隷健康診断センター）、尾島 俊之（浜松医科大学 健康社会医学講座）	障がい者スポーツ	パラスポーツ	部活動顧問	指導者	
498	45	41	原著	精神科病院におけるCOVID-19クラスターの特性と対応	菊池 綾	奈良県立医科大学 公衆衛生学講座、医療法人向聖台會	野田 龍也、今村 知明（以上、奈良県立医科大学公衆衛生学講座）	COVID-19	精神科病院	クラスター		
499	45	49	原著	高齢者を対象としたいわゆる健康食品の広報戦略の特徴：科学的思考を歪めさせるキャッチ･フレーズ	上岡 洋晴	東京農業大学大学院 環境共生学専攻	朴 相俊（佐久大学看護学部）、和田 安代（国立保健医療科学院生涯健康研究部）、島田 美樹子（桐生大学医療保健学部）	健康食品	高齢者	アンチエイジング	広報戦略	
500	45	63	助成研究	自律神経活動・心理面・眠気における足湯効果の検証	石川 正昭	兵庫県立尼崎総合医療センター 耳鼻咽喉科・頭頸部外科		LC-NA回路	瞳孔対光反射	足湯		
501	45	69	助成研究	高温入浴の入眠直後の深睡眠に及ぼす効果の検討	松田 貴雄	国立病院機構西別府病院スポーツ医学センター		高温温泉入浴	深睡眠潜時	唾液アミラーゼ		
502	45	75	助成研究	実生活環境下の入浴中脈拍変化とその関連要因	田井 義彬	奈良県立医科大学 医学部 疫学・予防医学講座	佐伯 圭吾（奈良県立医科大学 医学部 疫学・予防医学講座）	入浴	脈拍	ウェアラブルデバイス	実生活環境下	
503	45	81	助成研究	豊富温泉の皮膚病疾患に対する治療効果の科学的検証	岩田 浩明	岐阜大学医学系研究科・医学部	山内 恒生（岐阜大学応用生物科学部）、田中 加蓉子（岐阜大学医学系研究科・医学部）	豊富温泉	湯治	アトピー	乾癬	コールタール
504	45	87	助成研究	入浴が筋力トレーニングによるリボソーム量の増加を促進する可能性	小谷 鷹哉	東京大学 大学院総合文化研究科 広域科学専攻 生命環境科学系		レジスタンス運動	リボソーム生合成	筋肥大	mTOR	
505	45	93	助成研究	新玉川温泉における芳香浴を取り入れた岩盤浴によるストレス軽減効果の調査	畠山 米一	一般社団法人玉川温泉研究会、株式会社玉川温泉	柴田 裕（社会医療法人正和会）、ケイ 武居（ケイズケア）、杉山 純子（株式会社玉川温泉 新玉川温泉入浴相談室）	芳香浴	岩盤浴	ストレス軽減効果	唾液アミラーゼ活性	心臓自律神経調節
506	46		巻頭言	「日本健康開発雑誌第46発刊にあたって」	加藤 典嗣	（一財）日本健康開発財団　理事長						
507	46	3	原著	アンケート調査に基づく保育者を取り巻く音環境とストレスに関する研究	松橋 圭子	東京都市大学人間科学部	高橋風葉（元・横浜国立大学都市イノベーション学府）、田中稲子（横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院）、大西達也（横浜国立大学都市イノベーション学府）	保育者	音環境	労働環境	満足度	ストレス
508	46	11	原著	入浴の頻度および体温上昇と健康との関連	石澤 太市	株式会社バスクリン 製品開発部	小番美鈴、奥川洋司、中西信之、松本圭史（以上、株式会社バスクリン製品開発部）	入浴	頻度	体温	健康	健康寿命
509	46	21	原著	温冷交代浴・サウナの自律神経活動への影響	早坂 信哉	（一財）日本健康開発財団 温泉医科学研究所 東京都市大学人間科学部	三橋浩之、加藤典嗣（以上、(一財)日本健康開発財団）、早坂健杜（自治医科大学医学部）	サウナ	入浴	温冷交代浴	自律神経	
510	46	29	原著	児童相談支援におけるバーチャルリアリティロールプレイの可能性―生理的指標に基づく検討―	宮川 哲弥	東京都市大学人間科学部人間科学科	早坂信哉（東京都市大学人間科学部人間科学科）、堀口祐太（東京都港区児童相談所）、土田夕紀（東京都中野区児童相談所）	バーチャルリアリティ	心拍変動解析	ロールプレイ	児童福祉	面接

通算	発刊号	ページ	区分	論文タイトル	代表著者	所属団体・機関	共著者（所属団体・機関）	Key Word				
511	46	37	原著	多様な入浴方法が生体情報に与える影響：マイクロバブル入浴とウルトラファインバブルシャワー浴の比較検証	青木 駿介	株式会社電通サイエンスジャム 生体情報研究グループ	野々山昌生（リンナイ株式会社 技術開発部研究開発室）、早坂信哉（東京都市大学人間科学部）	入浴	マイクロバブル	生体情報計測	脳波	心拍
512	46	45	原著	コロナ禍の園長の意識から見た都心部の保育施設の課題： 換気を中心としたヒアリング調査の考察	松橋 圭子	東京都市大学 人間科学部	種市慎也、田中稲子（以上、横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院）	園長	意識	コロナ禍	換気	ヒアリング調査
513	46	55	原著	行動医学的ストレスマネジメントにより健康的な入浴を促すための研究	中尾 睦宏	昭和医科大学ストレスマネジメント研究所	倉田由美子、小林如乃（以上、昭和医科大学ストレスマネジメント研究所）	ウェルビーイング	行動医学	ストレスマネジメント	入浴	
514	46	65	助成研究	日韓温泉施設利用者の健康と生活の質	趙 修延	東義大学 温泉医学研究所	金 敬喆（東義大学 韓医学科）	温泉施設	温泉療法	健康状態	生活の質向上	
515	46	73	助成研究	足湯によるスマホ老眼改善効果の検証	広田 雅和	帝京大学　医療技術学部 視能矯正学科、 医学部 眼科額講座 帝京大学大学院　医療技術学研究科 視能矯正学専攻、医療データサイエンスっプログラム、総合データ応用プログラム		スマホ老眼	調節	デジタルデバイス	眼球屈折度	
516	46	79	助成研究	温泉水の施用による高カルシウム含量野菜の生産	小杉 健作	静岡県立田方農業高等学校 生産科学科	杉山さくら、髙田愛夢、田上慶乙、石田怜斗、岡崎楓太、浅賀沙恵（以上、静岡県立田方農業高等学校 生産科学科）	温泉	カルシウム	水耕栽培	サニーレタス	コマツナ
517	46	87	助成研究	若年層における温泉・浴槽入浴習慣とメンタルヘルスとの関連	穴井 茜	九州大学 アジア・オセアニア研究教育機構 福岡大学 国際フードスタディセンター	倉内祐樹（熊本大学大学院 生命科学研究部）、横田文彦（九州大学 アジア・オセアニア研究教育機構）、メイルマノフ セリック（立命館アジア太平洋大学 サステイナビリティ観光学部）	温泉・浴槽入浴	メンタルヘルスケア	大学生		
518	46	93	助成研究	空間的温冷制御を伴う水浴に向けた水中光温度提示装置の予備的検討	市橋 爽介	ジョージア工科大学 デジタルメディア	稲見昌彦（東京大学 先端科学技術研究センター）、何 昕霓（九州大学 芸術工学府）、Noura Howell（ジョージア工科大学 デジタルメディア）	入浴療法	温度提示	可視光	水	
519	46	99	助成研究	高血圧の温泉療法プログラム	山崎 聡	社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 血液内科 国立大学法人九州大学病院別府病院 内科	堀内孝彦（九州大学病院別府病院 内科、福岡市立病院機構福岡市民病院））	高血圧	夜間の温泉入浴	睡眠の質	生活の質向上	高齢者